

PISA調査(読解力)の公開問題例

文 部 科 学 省
平 成 1 7 年 1 月

目 次

○表2.4.1 読解力問題の正答率	・・・1
○チャド湖に関する問題	・・・5
○インフルエンザに関する問題	・・・11
○落書きに関する問題	・・・19
○労働力に関する問題	・・・25
○プラン・インターナショナルに関する問題	・・・32
○警察に関する問題	・・・35
○ランニングシューズに関する問題	・・・40
○贈り物に関する問題	・・・46
○アマンダと公爵夫人に関する問題	・・・59
○人事部に関する問題	・・・70
○新ルールに関する問題	・・・73

表2.4.1 読解力問題の正答率

問題の名称	小問の分類					正答率					
	小問番号	タイプ	状況・目的	プロセス	出題形式	全体		男子		女子	
						日本	OECD	日本	OECD	日本	OECD
チャド湖	問1	図	公共	情報の取り出し	選択肢形式	77.0	65.1	77.3	65.5	76.7	65.0
	問2	図	公共	情報の取り出し	論述形式	52.7	50.9	53.2	53.6	52.2	48.4
	問3	図	公共	熟考と評価	論述形式	48.8	36.9	49.3	34.9	48.5	39.2
	問4	図	公共	解釈	選択肢形式	78.6	77.3	76.6	75.6	80.5	79.2
	問5	図	公共	解釈	選択肢形式	58.1	56.7	56.8	55.7	59.5	57.9
毒物を与えられたクモ	問1	解説	公共	解釈	選択肢形式	84.8	84.1	83.8	83.5	85.8	84.8
	問2	解説	公共	熟考と評価	論述形式	52.3	53.2	50.1	50.5	54.4	56.1
	問3	解説	公共	解釈	論述形式	57.7	61.3	53.3	59.4	61.9	63.4
	問4	解説	公共	解釈	論述形式	60.6	77.4	55.3	73.8	65.7	81.2
マコンド	問1	物語	個人	解釈	論述形式	89.5	65.7	85.5	61.9	93.6	69.8
	問2	物語	個人	解釈	選択肢形式	55.6	62.6	54.1	59.9	57.1	65.4
	問3	物語	個人	解釈	選択肢形式	76.9	68.7	76.0	65.8	77.8	71.7
	問4	物語	個人	熟考と評価	論述形式	70.3	54.3	63.1	48.6	77.4	60.2
イソップ物語	問1	物語	個人	解釈	選択肢形式	84.0	88.4	82.3	86.4	85.7	90.5
	問2	物語	個人	熟考と評価	論述形式	54.5	54.6	49.6	49.8	59.5	59.5
	問3	物語	個人	熟考と評価	論述形式	58.9	62.9	51.0	55.9	66.8	70.0
ビーチ	問1	解説	公共	解釈	複合的選択肢形式	55.7	54.4	53.7	52.5	57.8	56.6
	問2	解説	公共	情報の取り出し	選択肢形式	73.3	70.7	72.6	69.4	73.9	72.1
	問3	解説	公共	熟考と評価	論述形式	18.1	17.2	15.6	14.3	20.7	20.2
	問4	解説	公共	情報の取り出し	選択肢形式	54.3	53.3	52.4	51.3	56.3	55.3
イラン航空	問1	表	公共	情報の取り出し	論述形式	53.6	68.7	48.5	66.8	58.8	70.8
	問2	表	公共	解釈	論述形式	44.7	54.3	44.3	53.3	45.2	55.4
	問3	表	公共	情報の取り出し	選択肢形式	53.5	53.0	50.2	51.4	56.9	55.0
インフルエンザ	問1	議論・説得	職業	情報の取り出し	選択肢形式	85.8	70.7	80.1	65.0	91.2	76.5
	問2	議論・説得	職業	熟考と評価	論述形式	44.1	44.9	38.1	37.2	49.8	52.8
	問3	議論・説得	職業	解釈	選択肢形式	38.8	53.9	36.2	49.7	41.3	58.1
	問4	議論・説得	職業	熟考と評価	論述形式	41.3	31.1	32.8	26.1	49.4	36.3
	問5	議論・説得	職業	解釈	選択肢形式	54.2	45.1	49.4	40.3	58.8	50.1
落書き	問1	議論・説得	公共	解釈	選択肢形式	84.5	76.7	81.7	73.6	87.3	79.8
	問2	議論・説得	公共	解釈	論述形式	42.2	53.4	40.4	49.1	44.0	57.8
	問3	議論・説得	公共	熟考と評価	論述形式	71.1	67.8	66.3	61.9	75.9	73.6
	問4	議論・説得	公共	熟考と評価	論述形式	54.7	45.2	48.5	38.7	60.8	51.9
家事を始める年齢	問1	解説	教育	解釈	選択肢形式	60.3	66.7	55.5	61.6	65.0	72.1
	問2	図	教育	情報の取り出し	求答形式	88.6	85.2	85.6	82.9	91.7	87.7

	問3	図	教育	情報の取り出し	論述形式	91.0	80.6	88.0	78.6	94.0	82.7
	問4	図	教育	解釈	選択肢形式	76.6	68.3	73.6	68.8	79.6	67.8
	問5	図	教育	熟考と評価	論述形式	65.1	47.4	56.8	41.1	73.5	53.8
もしも	問1	議論・説得	公共	解釈	選択肢形式	84.9	83.9	81.3	80.6	88.4	87.4
	問2	議論・説得	公共	熟考と評価	論述形式	81.4	73.3	74.5	65.7	88.1	80.9
	問3	広告・宣伝	公共	熟考と評価	論述形式	41.0	29.3	38.4	25.0	43.6	33.7
労働力	問1	図式・概要	教育	解釈	選択肢形式	72.0	62.9	70.0	60.1	73.9	66.0
	問2	図式・概要	教育	情報の取り出し	求答形式	53.3	46.4	56.9	46.7	49.9	46.3
	問3	図式・概要	教育	解釈	複合的選択肢形式	43.2	39.4	42.6	38.1	43.8	40.8
	問4	図式・概要	教育	熟考と評価	複合的選択肢形式	80.2	69.1	77.4	66.5	82.8	72.1
	問5	図式・概要	教育	熟考と評価	選択肢形式	65.3	62.4	62.9	58.6	67.6	66.4
図書館	問1	地図	公共	情報の取り出し	求答形式	88.4	86.1	86.8	84.3	89.9	87.9
	問2	地図	公共	解釈	選択肢形式	92.2	87.0	90.8	85.6	93.5	88.5
	問3	地図	公共	熟考と評価	論述形式	86.6	79.9	82.9	77.3	90.1	82.8
通信社	問1	表	公共	解釈	求答形式	76.8	74.7	74.0	73.5	79.5	76.1
プラン・インターナショナル	問3	表	公共	熟考と評価	論述形式	10.9	10.6	7.6	10.2	14.2	11.0
警察	問1	解説	教育	情報の取り出し	選択肢形式	77.0	61.4	74.6	60.4	79.4	62.5
	問2	解説	教育	解釈	選択肢形式	68.8	59.4	66.1	58.2	71.6	60.7
	問3	解説	教育	解釈	選択肢形式	50.4	80.5	50.7	78.4	50.1	82.7
	問4	解説	教育	解釈	選択肢形式	82.4	80.8	78.3	79.0	86.6	82.8
サイ	問1	叙述	公共	解釈	選択肢形式	77.6	55.3	76.0	54.5	79.2	56.3
	問2	叙述	公共	解釈	選択肢形式	79.9	86.3	80.5	85.5	79.3	87.2
	問3	叙述	公共	熟考と評価	選択肢形式	76.9	64.3	74.6	61.3	79.1	67.4
	問4	叙述	公共	解釈	選択肢形式	69.9	78.4	66.2	75.0	73.7	81.9
	問5	叙述	公共	解釈	選択肢形式	43.4	47.0	43.5	46.2	43.3	47.9
	問8	叙述	公共	解釈	選択肢形式	53.2	55.8	51.3	53.6	55.2	58.0
ワイシャツ	問1	解説	個人	解釈	選択肢形式	80.1	81.5	76.4	78.4	83.7	84.9
	問4	解説	個人	解釈	論述形式	61.9	36.7	58.7	35.8	65.1	37.8
	問5	表	個人	解釈	論述形式	40.4	42.4	39.2	41.4	41.5	43.5
	問6	表	個人	熟考と評価	論述形式	26.5	33.7	27.3	31.5	25.7	36.1
	問7	解説	個人	解釈	選択肢形式	79.4	85.6	76.1	84.6	82.5	86.8
電話	問1	表	公共	情報の取り出し	論述形式	89.0	83.1	85.8	80.9	92.3	85.5
	問2	表	公共	情報の取り出し	論述形式	52.2	41.4	52.6	41.7	51.7	41.3
	問3	表	公共	情報の取り出し	論述形式	80.3	79.7	75.4	78.6	85.3	80.8
	問4	表	公共	情報の取り出し	求答形式	29.2	28.9	26.3	28.4	32.2	29.6
ランニングシューズ	問1	解説	教育	解釈	選択肢形式	85.7	84.6	83.9	80.7	87.4	88.7

	問2	解説	教育	情報の取り出し	求答形式	84.9	78.9	80.5	73.2	89.2	84.8
	問3	解説	教育	情報の取り出し	求答形式	73.4	75.9	69.0	71.2	77.7	80.9
	問4	解説	教育	熟考と評価	選択肢形式	77.2	77.9	73.5	74.6	80.8	81.4
交換留学	問1	解説	教育	解釈	選択肢形式	73.1	64.2	66.5	59.4	79.4	69.1
	問2	解説	教育	熟考と評価	論述形式	30.9	34.6	25.4	29.5	36.2	39.6
	問3	解説	教育	情報の取り出し	選択肢形式	87.0	78.1	82.2	73.9	91.7	82.3
	問4	解説	教育	熟考と評価	論述形式	66.9	44.8	60.9	38.7	72.7	51.0
贈り物	問1	物語	個人	熟考と評価	論述形式	65.3	64.2	60.6	59.5	69.8	69.4
	問2	物語	個人	解釈	選択肢形式	81.4	73.5	78.4	72.2	84.3	74.9
	問3	物語	個人	解釈	論述形式	42.7	43.0	39.6	37.8	45.6	48.3
	問4	物語	個人	情報の取り出し	選択肢形式	83.9	85.2	82.6	83.1	85.2	87.5
	問5	物語	個人	解釈	論述形式	42.6	56.6	39.6	52.9	45.5	60.7
	問6	物語	個人	解釈	選択肢形式	50.5	40.9	45.5	38.4	55.3	43.5
	問7	物語	個人	熟考と評価	論述形式	34.2	37.1	34.2	32.5	38.3	41.9
生徒たちの主張	問1	議論・説得	教育	解釈	選択肢形式	71.3	58.2	67.0	54.2	75.6	62.3
	問2	議論・説得	教育	解釈	選択肢形式	54.8	43.1	53.2	40.9	56.4	45.4
	問3	議論・説得	教育	熟考と評価	論述形式	77.0	61.2	68.7	54.9	85.1	67.6
	問4	議論・説得	教育	熟考と評価	複合的選択肢形式	83.3	72.3	80.2	70.5	86.4	74.2
ジャスト・アート	問2	書式	教育	解釈	選択肢形式	72.2	60.1	68.5	58.6	75.7	61.8
	問3	書式	教育	情報の取り出し	複合的選択肢形式	45.8	43.8	42.6	42.6	48.9	45.2
アマンダと公爵夫人	問1	物語	個人	解釈	選択肢形式	82.8	73.7	75.4	65.5	89.9	82.1
	問2	物語	個人	熟考と評価	求答形式	62.5	44.5	57.3	38.1	67.4	51.2
	問3	表	個人	解釈	求答形式	63.9	44.3	54.8	37.1	72.4	52.0
	問4	物語	個人	情報の取り出し	求答形式	57.5	36.7	49.5	31.5	65.2	42.1
	問5	物語	個人	解釈	選択肢形式	75.6	67.3	67.3	58.1	83.5	77.0
求職	問1	書式	職業	情報の取り出し	論述形式	72.8	57.6	72.2	56.2	73.3	59.3
	問2	書式	職業	熟考と評価	論述形式	81.6	76.7	78.3	73.6	84.8	80.0
南極点	問1	地図	教育	情報の取り出し	求答形式	52.8	46.2	54.5	49.7	51.1	43.0
	問2	図	教育	解釈	選択肢形式	63.1	63.5	62.6	63.9	63.5	65.6
	問3	解説	教育	解釈	選択肢形式	60.5	60.7	60.2	57.7	60.7	63.8
	問4	解説	教育	解釈	選択肢形式	87.7	85.1	84.8	83.3	90.6	87.1
	問5	解説	教育	解釈	選択肢形式	51.4	66.0	52.2	64.8	50.5	67.3
原子力	問2	図	公共	解釈	論述形式	62.5	70.7	59.7	69.5	65.2	72.2
	問3	図	公共	情報の取り出し	選択肢形式	84.7	89.9	84.3	90.4	85.1	89.6
	問4	図	公共	情報の取り出し	選択肢形式	81.5	75.9	80.3	77.9	82.7	74.0
メガネ技師	問1	叙述	職業	解釈	選択肢形式	80.1	58.1	75.1	56.0	85.0	60.3

	問2	叙述	職業	情報の取り出し	複合的選択肢形式	71.5	60.0	67.3	57.2	75.5	62.9	
	問3	叙述	職業	熟考と評価	論述形式	61.5	55.7	57.0	50.5	65.9	61.1	
	問4	図	職業	解釈	求答形式	67.0	70.3	64.7	66.5	69.3	74.3	
	問5	図	職業	情報の取り出し	求答形式	81.7	75.0	79.2	72.2	84.2	78.1	
交換留学生への 手引き	R228Q0 1	指示・命令	教育	解釈	選択肢形式	75.5	67.9	71.0	62.4	79.9	73.4	
	R228Q0 2	指示・命令	教育	解釈	選択肢形式	87.1	59.0	85.4	57.5	88.8	60.6	
	R228Q0 4	指示・命令	教育	解釈	選択肢形式	76.0	57.7	71.0	55.5	81.0	60.1	
人事部	問1	叙述	職業	情報の取り出し	求答形式	89.4	85.5	87.2	82.9	91.6	88.2	
	問2	叙述	職業	情報の取り出し	論述形式	66.7	31.3	61.0	27.8	72.2	34.9	
新ルール	問1	解説	公共	解釈	求答形式	63.1	48.0	60.2	43.4	65.8	52.7	
	問2	解説	公共	解釈	論述形式	24.4	25.3	20.2	20.4	28.4	25.3	
就職のための面接	問1	指示・命令	職業	情報の取り出し	論述形式	54.8	59.9	46.9	53.7	62.4	66.3	
	問2	指示・命令	職業	解釈	論述形式	82.9	58.1	80.0	52.2	85.6	64.2	
自転車	問1	指示・命令	公共	情報の取り出し	論述形式	57.9	64.9	54.1	60.5	61.7	69.4	
	問2	指示・命令	公共	解釈	論述形式	60.1	49.1	60.4	47.5	59.7	50.8	
アレルギー/探 検家	問1	解説	公共	解釈	論述形式	60.6	52.2	55.3	48.1	65.8	56.3	
	問2	解説	公共	情報の取り出し	求答形式	90.0	66.8	87.7	65.8	92.1	67.9	
保証書	問2	叙述	公共	解釈	論述形式	74.0	57.7	68.9	52.6	79.1	63.0	
映画短評	問1	議論・説得	個人	情報の取り出し	論述形式	78.8	73.5	78.0	71.9	79.5	75.3	
	問2	議論・説得	個人	解釈	論述形式	77.2	66.5	79.2	64.5	75.2	68.7	
就職希望先への 連絡	問1	指示・命令	職業	情報の取り出し	論述形式	90.5	75.5	87.8	70.1	93.1	80.9	
	問2	指示・命令	職業	情報の取り出し	論述形式	26.6	31.3	19.7	25.6	33.2	36.9	
注) 網掛けしたユニットは非公開である。						平均値	65.9	61.0	62.7	58.0	69.0	64.1

チャド湖に関する問題

チャド湖

図1は、北アフリカのサハラ砂漠にあるチャド湖の水位変化を示しています。チャド湖は、最後の氷河時代の紀元前20000年ごろに完全に姿を消しましたが、紀元前11000年ごろに再び出現しました。現在のチャド湖の水位は、西暦1000年とほぼ同じです。

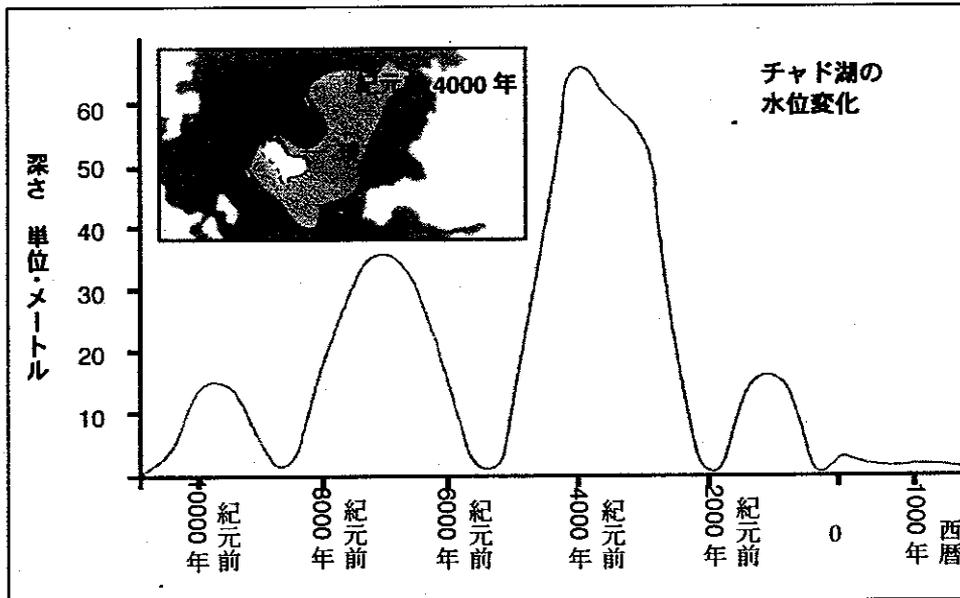


図1

図2は、サハラ砂漠のロックアート（洞窟（どうくつ）の壁に描かれた古代の壁画、とそれに描かれた野生動物の変化を示しています。

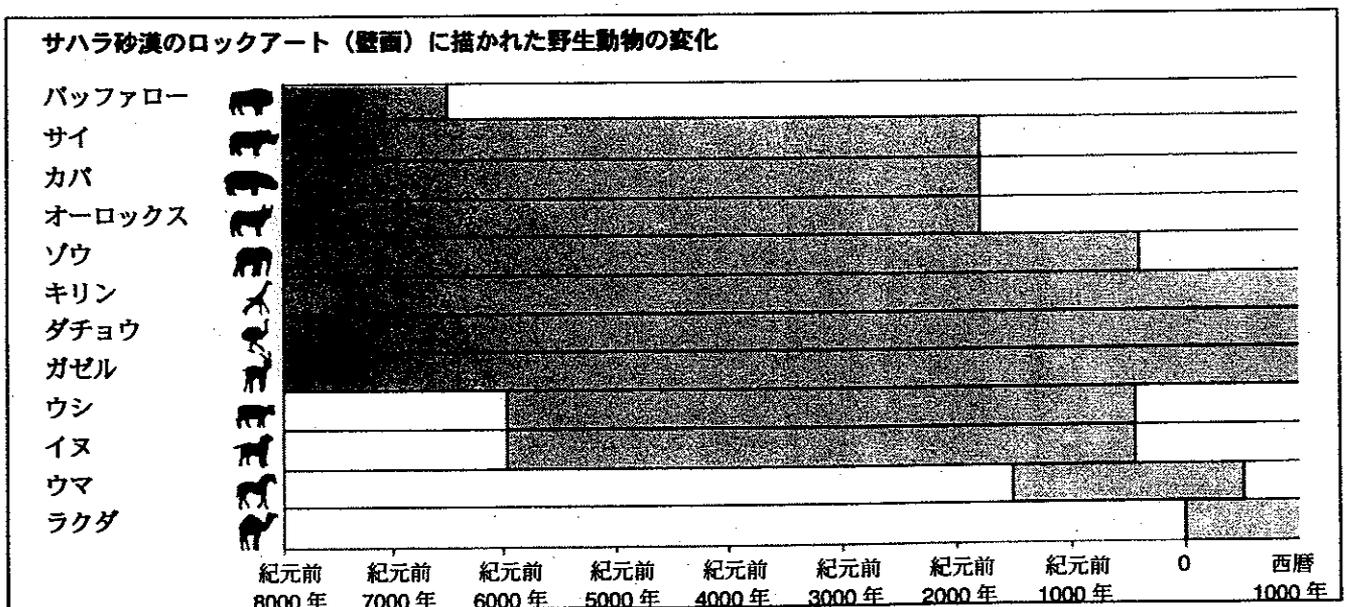


図2

前ページのチャド湖に関する情報を用いて、問1～5に答えてください。

チャド湖に関する問1

現在のチャド湖の水深は何メートルですか。

- A 約2メートル
- B 約15メートル
- C 約50メートル
- D チャド湖は完全に姿を消している。
- E 情報は与えられていない。

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：図

状況・目的：公共

問1の正答はAであり、結果は以下に示した。

チャド湖に関する問1の結果

(単位：%)

国名	反 応 率						正 答 率		
	A	B	C	D	E	無答	全体	女子	男子
日本	77.0	4.2	4.5	4.2	8.9	1.2	77.0	76.7	77.3
オーストラリア	71.2	2.0	3.6	3.0	18.6	1.6	71.2	71.5	71.4
カナダ	66.4	3.1	4.2	2.8	22.0	1.5	66.4	66.5	66.3
フィンランド	74.2	2.9	1.4	2.1	18.1	1.2	74.2	76.0	72.4
フランス	63.6	2.4	4.7	10.6	0.0	18.7	63.6	62.4	65.3
ドイツ	63.0	3.5	3.9	2.9	22.7	4.0	63.0	60.3	65.8
アイルランド	67.3	2.7	5.5	3.0	19.8	1.7	67.3	67.8	67.3
イタリア	60.4	3.9	6.8	4.7	20.7	3.6	60.4	59.1	61.5
韓国	73.0	4.3	5.1	3.6	12.2	1.7	73.0	71.9	73.9
ニュージーランド	67.1	3.4	3.6	3.5	20.8	1.5	67.1	70.5	64.6
イギリス	68.7	2.2	4.6	2.5	19.7	2.4	68.7	70.4	67.3
アメリカ	60.0	3.8	4.4	4.4	26.1	1.3	60.0	62.3	57.7
OECD平均	65.1	3.8	4.8	4.6	18.3	3.4	65.1	65.0	65.5

注) 正答率は、正答Aに解答した生徒の割合である。

チャド湖に関する問2

図1のグラフは約何年から始まっていますか。

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：図

状況・目的：公共

問2の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問2の結果」に示した。

チャド湖に関する問2の採点基準	
コード	解答
正答	
1	紀元前 11000 年（または、紀元前 10500～12000 年ごろ、または生徒が図の目盛りから推定した年）
誤答／無答	
0	その他の答え。図1の上のグラフの出発点に矢印を書く答えを含む。
9	無答

チャド湖に関する問2の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	52.7	39.4	7.9	52.7	52.2	53.2
オーストラリア	57.7	37.1	5.1	57.7	54.9	60.3
カナダ	52.9	44.5	2.7	52.9	49.8	56.2
フィンランド	70.7	26.2	3.1	70.7	70.7	70.6
フランス	61.6	32.9	5.5	61.6	56.4	67.5
ドイツ	52.4	40.7	7.0	52.4	46.9	57.9
アイルランド	47.3	49.6	3.1	47.3	43.0	51.9
イタリア	42.2	48.2	9.6	42.2	40.0	44.5
韓国	44.2	44.8	11.0	44.2	40.4	47.3
ニュージーランド	60.9	34.7	4.3	60.9	61.7	60.8
イギリス	56.8	37.0	6.3	56.8	53.4	61.0
アメリカ	47.0	48.4	4.5	47.0	45.7	48.4
OECD平均	50.9	42.2	6.9	50.9	48.4	53.6

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

チャド湖に関する問3

筆者は、このグラフの始まる年として、どうしてこの年を選んだのですか。

.....

.....

問3の出題の意図は以下の通りである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：図

状況・目的：公共

問3の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問3の結果」に示した。

チャド湖に関する問3の採点基準	
コード	解答
正答	
1	チャド湖が再度出現した点を述べている。注記：前の回答が誤っていても、この問題の回答で満点が与えられる場合がある。
誤答/無答	
0	その他の答え。
9	無答

チャド湖に関する問3の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	48.8	26.5	24.7	48.8	48.5	49.3
オーストラリア	35.0	52.5	12.6	35.0	36.8	33.4
カナダ	36.5	55.6	7.9	36.5	36.8	36.5
フィンランド	49.0	40.9	10.2	49.0	53.8	44.2
フランス	45.3	40.3	14.4	45.3	46.8	44.0
ドイツ	31.6	46.6	21.8	31.6	32.1	31.0
アイルランド	37.0	50.2	12.8	37.0	38.2	36.2
イタリア	41.6	35.0	23.3	41.6	45.9	37.3
韓国	37.2	43.7	19.1	37.2	40.4	34.6
ニュージーランド	36.1	54.1	9.7	36.1	39.3	33.7
イギリス	35.9	49.9	14.3	35.9	39.0	32.2
アメリカ	27.9	62.7	9.4	27.9	28.7	27.2
OECD平均	36.9	45.2	17.9	36.9	39.2	34.9

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

チャド湖に関する問4

図2は、ある仮定に基づいています。その仮定を以下から一つ選んでください。

- A ロックアートに描かれている動物は、それらが描かれたときにこの地域に存在していた。
- B 動物を描いた芸術家たちは高い技術をもっていた。
- C 動物を描いた芸術家たちは広い範囲を移動することができた。
- D ロックアートに描かれた動物を家畜にしようとする試みはなかった。

問4の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：図

状況・目的：公共

問4の正答はAであり、結果は「問4の結果」に示した。

チャド湖に関する問4の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	78.6	7.3	9.3	3.4	1.4	78.6	80.5	76.6
オーストラリア	79.6	5.5	4.9	8.2	1.8	79.6	81.2	78.5
カナダ	80.4	4.1	4.8	9.4	1.3	80.4	80.3	80.5
フィンランド	87.2	2.6	3.4	4.3	2.4	87.2	90.4	84.1
フランス	82.0	3.6	3.9	5.8	4.7	82.0	83.9	80.4
ドイツ	79.7	3.8	5.0	5.8	5.7	79.7	82.7	77.0
アイルランド	72.2	6.6	10.0	9.1	2.1	72.2	75.3	69.8
イタリア	78.5	3.7	7.4	5.1	5.3	78.5	82.5	75.4
韓国	84.8	2.0	8.6	3.0	1.7	84.8	84.7	84.8
ニュージーランド	78.2	5.5	6.1	8.6	1.6	78.2	81.9	75.4
イギリス	76.2	4.3	8.3	9.1	2.1	76.2	78.2	73.5
アメリカ	70.7	5.0	10.2	12.3	1.9	70.7	71.8	69.6
OECD 平均	77.3	5.1	6.4	7.7	3.5	77.3	79.2	75.6

注) 正答率は、正答Aに解答した生徒の割合である。

チャド湖に関する問5

この問いに答えるには、図1と図2から得た情報をまとめる必要があります。

サハラ砂漠のロックアートからサイ、カバ、オーロックスが姿を消したのは、以下のどの時期ですか。一つ選んでください。

- A 最後の氷河時代の始め
- B チャド湖の水位が最高だった期間の中ごろ
- C チャド湖の水位が1000年間以上にわたって低下し続けた後
- D とぎれることのない乾期の始め

問5の出題の意図は以下の通りである。

プロセス：解釈

タイプ：図

状況・目的：公共

問5の正答はCであり、結果は以下に示した。

チャド湖に関する問5の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	17.4	9.2	58.1	13.4	1.8	58.1	59.5	56.8
オーストラリア	10.2	10.1	62.3	14.6	2.9	62.3	64.2	60.8
カナダ	10.1	9.0	62.0	17.3	1.5	62.0	61.3	63.1
フィンランド	8.6	6.3	70.6	11.7	2.7	70.6	75.4	66.0
フランス	5.5	7.2	59.9	22.4	5.0	59.9	61.6	58.5
ドイツ	6.8	9.3	58.3	19.0	6.5	58.3	59.6	57.8
アイルランド	11.3	10.0	61.5	14.8	2.5	61.5	63.0	59.9
イタリア	-	-	-	-	-	-	-	-
韓国	18.1	7.4	54.6	18.9	0.9	54.6	52.7	56.2
ニュージーランド	11.8	9.1	59.1	18.4	1.7	59.1	63.8	55.1
イギリス	11.9	11.6	58.6	15.1	2.8	58.6	59.3	58.1
アメリカ	12.5	15.0	55.7	14.8	2.0	55.7	56.4	55.1
OECD平均	10.5	9.9	56.7	18.5	4.3	56.7	57.9	55.7

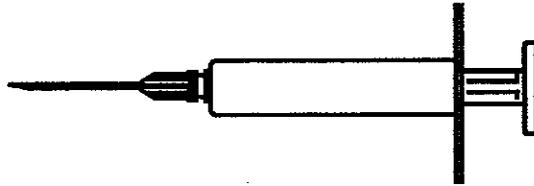
注) 正答率は、正答Cに解答した生徒の割合である。

インフルエンザに関する問題

ACOL社インフルエンザ予防接種のお知らせ（自由接種）

ご存知のように、冬にはインフルエンザがまたたく間に広がって、それにかかった人が何週間にもわたって体調を崩すことがあります。

ウイルスに負けない最善の方法は、健康で抵抗力のある身体を維持することです。侵入してくるウイルスを免疫システムで防ぐには、毎日運動することや、野菜と果物をたくさんとることが非常に大切です。



気づかないうちにウイルスが社内に広がるのを防ぐ第二の方法として、ACOL社は社員のために、インフルエンザの集団予防接種を計画しました。そこで、11月17～23日の週に勤務時間内の半日をあて、社内で看護婦が予防接種を実施することにしました。社員はだれでも、この予防接種を無料で受けられます。

接種は自由です。予防接種を希望する社員は、同意書（アレルギー体質でないこと、多少の副作用が出る可能性を了解していることを記したもの）に押印しなければなりません。

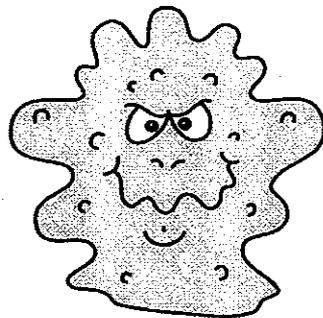
医学的には、予防接種によってインフルエンザにかからなくなるとされています。ただし、だるさや微熱のほか、腕が痛くなるなどの副作用が生じることがあります。

予防接種を受けた方がいい人

ウイルスへの予防をしたい人ならだれでも。

この予防接種は、とくに65歳以上の人にお勧めします。また、とくに心臓、肺、気管支、糖尿などの虚弱性の慢性病を抱える人には、年齢に関係なく全員にお勧めします。

職場では、だれもがインフルエンザにかかる可能性があります。



予防接種を受けてはいけない人

タマゴに対してアレルギーのある人、急性の熱病にかかっている人、妊婦。

現在薬を飲んでいる人や、過去にインフルエンザの予防接種でアレルギー反応が認められた人は、かかりつけの医師に相談してください。

11月17～23日の週に予防接種を希望する社員は、11月7日（金）までに人事部の町田まで連絡してください。日時は、看護婦の手配、希望者数、社員の都合を考慮して決めます。この冬にそなえて予防接種を希望していても、決められた日時に都合がつかない場合は、町田まで連絡してください。不都合な人が多い場合は、別の日時に実施する場合があります。

詳しくは、町田（内線5577）までお問合せください。

健康第一

ACOL社の人事部の町田ふみえは、上に示した通知を社員のために作成しました。この通知を読んで、問1～5に答えてください。

インフルエンザに関する問1

ACOL社の予防接種プログラムについて述べているのは、次のうちどれですか。

- A 冬の間、体操のクラスが毎日開かれる。
- B 勤務時間中、予防接種が実施される。
- C 参加者には、小額の手当が支給される。
- D 医師が注射する。

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：議論・説得

状況・目的：職業

問1の正答はBであり、結果は次に示した。

インフルエンザに関する問1の結果

(単位:%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	2.5	85.8	2.0	8.7	1.0	85.8	91.2	80.1
オーストラリア	5.9	77.8	2.0	13.3	1.1	77.8	82.9	73.5
カナダ	6.8	77.1	2.1	13.4	0.7	77.1	81.6	72.8
フィンランド	3.2	71.8	0.4	16.3	8.4	71.8	84.7	59.0
フランス	3.0	70.7	0.9	19.8	5.5	70.7	77.5	63.6
ドイツ	2.5	71.9	1.7	17.4	6.4	71.9	74.9	69.0
アイルランド	9.8	76.5	0.2	13.3	0.2	76.5	84.1	69.7
イタリア	7.5	70.4	1.4	15.0	5.7	70.4	78.7	62.2
韓国	11.6	71.7	2.8	11.5	2.4	71.7	75.2	68.9
ニュージーランド	10.1	73.5	2.2	13.7	0.5	73.5	82.7	65.4
イギリス	9.5	74.7	1.3	13.6	0.9	74.7	80.2	68.7
アメリカ	7.3	69.7	5.6	15.8	1.6	69.7	73.8	65.7
OECD平均	6.5	70.7	2.4	16.7	3.7	70.7	76.5	65.0

注) 正答率は、正答Bに解答した生徒の割合である。

問1は、実用的な文章の内容を正確に理解して情報を取り出すことを求める問題である。

OECD加盟国の平均正答率が71%であるのに対して、わが国の平均正答率は86%と15%高い。日本は12か国の中では最高である。

インフルエンザに関する問2

この通知の内容(何を述べているか)について考えてみましょう。

そのスタイル(内容を伝える方法)について考えてみましょう。

町田さんは、この通知を親しみをこめて誘いかけるスタイルにしたいと考えました。

うまくできていると思いますか。

通知のレイアウト、文体、イラストなどについて詳しく述べながら、そう考えた理由を説明してください。

.....

.....

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス: 熟考と評価

タイプ: 議論・説得

状況・目的: 職業

問2の採点基準は下記のとおりであり、結果は「問2の結果」に示した。

インフルエンザに関する問2の採点基準	
コード	回答
完全正答 (2点)	
2	「親しみをこめて誘いかける」という主旨に沿って、課題文に正確に言及し、文体を目的に関連づけている。答えは、少なくとも次のいずれかが述べられていること。 (1) 課題文の特徴の一つを詳細に説明している (レイアウト、文体、イラストなど、またはそれに類すること) - つまり、具体的な箇所について、またはその特徴の質について説明している。および/または、 (2) 「親しみをこめて」と「誘いかける」以外に、評価を表す語句を使用している。(「関心をひく」、「読みやすい」、「明快」のような語句は、評価として具体的でない判断されることに注意する。) 町田さんが成功したかどうかについての意見は、明記しても暗に示してもよい。
部分正答 (1点)	
1	「親しみをこめて誘いかける」という主旨に沿って、課題文に正確に言及し、(文体よりも) 情報と内容を目的に関連づけている。 町田さんが成功したかどうかについての意見は、明記しても暗に示してもよい。
誤答/無答 (0点)	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。
9	無答

インフルエンザに関する問2の結果

(単位: %)

国名	反 応 率				正 答 率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	41.6	5.0	11.6	41.9	44.1	49.8	38.1
オーストラリア	54.4	9.7	23.2	12.7	59.3	68.1	51.8
カナダ	48.3	14.7	24.2	12.9	55.6	63.8	47.5
フィンランド	39.1	15.3	31.8	13.8	46.8	59.8	33.8
フランス	30.6	26.2	13.4	29.8	43.7	52.1	35.2
ドイツ	47.1	9.8	20.3	22.8	52.0	58.7	45.1
アイルランド	53.1	12.9	23.5	10.6	59.5	70.0	49.1
イタリア	35.5	7.8	28.9	27.7	39.4	50.6	28.4
韓国	31.2	20.7	24.9	23.2	41.6	45.0	39.0
ニュージーランド	46.5	10.5	29.9	13.1	51.7	63.7	41.3
イギリス	65.7	7.3	15.4	11.5	69.4	77.0	60.8
アメリカ	31.8	13.9	41.0	13.4	38.8	45.2	32.5
OECD平均	38.0	13.7	26.7	21.6	44.9	52.8	37.2

注) 正答率は、完全正答した生徒の割合に部分正答の生徒の割合を0.5倍して加えたものである。

問2は、実用的な文章の文体などに正確に言及しながら、明確な根拠に基づいて自分の意見を論じることが求められている。

OECD加盟国の平均正答率が45%であるのに対し、我が国の平均正答率は44%である。12か国の中で、わが国の平均正答率より低いのは、フランス、イタリア、韓国、アメリカのみである。

インフルエンザに関する問3

この通知では、インフルエンザ・ウイルスを予防するうえで、予防接種はどのようなものだと言っていますか。次のうちから一つ選んでください。

- A 運動や健康によい食事より効果があるが、もっとリスクがある。
- B 良いことだが、運動や健康によい食事の代わりにはならない。
- C 運動や健康によい食事と同じように効果があり、しかも、問題を引き起こさない。
- D 運動や健康によい食事が十分であれば、あえて検討する必要はない。

問3の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：議論・説得

状況・目的：職業

問3の正答はBである。結果は下に示した。

インフルエンザに関する問3の結果

(単位：%)

国名	反応率					正答率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	22.2	38.8	15.5	22.0	1.7	38.8	41.3	36.2
オーストラリア	6.3	64.4	16.9	11.1	1.3	64.4	68.4	61.0
カナダ	6.3	70.1	14.7	8.4	0.6	70.1	73.9	66.5
フィンランド	5.0	66.3	12.4	13.0	3.2	66.3	71.3	61.3
フランス	15.6	43.9	22.7	11.9	5.9	43.9	45.6	42.0
ドイツ	6.3	53.8	11.9	19.9	8.1	53.8	55.1	52.3
アイルランド	9.1	59.9	14.9	14.6	1.5	59.9	65.6	53.7
イタリア	8.4	58.2	21.6	7.3	4.5	58.2	64.0	51.7
韓国	11.2	29.6	8.1	50.1	1.0	29.6	30.4	28.9
ニュージーランド	8.5	60.7	20.2	9.9	0.7	60.7	67.4	54.8
イギリス	8.6	61.1	18.0	10.9	1.4	61.1	66.4	55.3
アメリカ	7.8	68.9	17.3	4.9	1.2	68.9	71.5	66.4
OECD平均	10.0	53.9	17.1	15.4	3.5	53.9	58.1	49.7

注) 正答率は、正答Bに解答した生徒の割合である。

問3は、実用的な文章に書かれていることを正確にとらえることが求められている問題である。

OECD加盟国の平均正答率54%に対して、我が国の正答率は39%である。我が国の正答率より低いのは韓国のみである。

わが国の平均正答率が低い理由は、このような実用的な文章について正確に読みとることになれていないせいではないかと思われる。

インフルエンザに関する問4

通知の一部に以下のように記されています。

予防接種を受けた方がいい人

ウイルスへの予防をしたい人ならだれでも。

町田さんは、通知を配った後で同僚の一人から、「ウイルスへの予防をしたい人ならだれでも」という語句は誤解を招くから、省いたほうがよかったと助言されました。

あなたも、この語句は誤解を招くから、省いたほうがよかったと思いますか。

具体的な理由を示して意見を述べてください。

.....

.....

.....

.....

問4の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：議論・説得

状況・目的：職業

問4の採点基準は下記のとおりであり、結果は「問4の結果」に示した。

インフルエンザに関する問4の採点基準	
コード	回答
完全正答 (2点)	
2	隠れた矛盾（「ウイルスへの予防をしたい人ならだれでも」と「予防接種を受けてはいけない人」があること）を指摘して、「誤解を招く」という語句に関連して通知を評価している。矛盾は何かを説明してもしなくてもよい。 賛成か反対かは、明記しても暗に示してもよい。 または：_____ 文章が大きすぎであると指摘して、「誤解を招く」という語句に関連して通知を評価している。（必ずしも全員が予防接種を受ける必要はない、予防接種を受けてもインフルエンザを完全に予防できるわけではない。）何が大きすぎかは、説明しても説明しなくてもよい。賛成か反対かは、明記しても暗に示してもよい。
部分正答 (1点)	

1	通知を評価しているが、「誤解を招く」という語句に関連して評価していない。 (1)隠れた矛盾や誤解を招く要素を指摘せずに、この表現は説得力がある、効果がある、誘いかけているといった点を指摘している。または、 (2)「ウイルスへの予防をしたい人ならだれでも」という表現は、当り前のことを述べているから余計であると指摘している。
誤答/無答 (0点)	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。
9	無答

インフルエンザに関する問4の結果

(単位: %)

国名	反 応 率				正 答 率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	41.3	5.9	29.9	22.9	41.3	49.4	32.8
オーストラリア	32.1	11.5	48.0	8.4	32.1	38.6	26.8
カナダ	41.0	17.6	35.4	5.9	41.0	46.3	36.0
フィンランド	47.7	6.2	40.7	5.3	47.7	56.2	39.3
フランス	23.2	19.4	39.2	18.2	23.2	26.7	19.8
ドイツ	25.6	25.5	36.1	12.8	25.6	29.8	21.5
アイルランド	38.4	9.6	45.2	6.8	38.4	45.9	31.2
イタリア	18.8	18.3	38.2	24.8	18.8	22.0	15.5
韓国	38.3	20.3	35.6	5.8	38.3	35.7	40.3
ニュージーランド	36.0	10.5	46.6	6.9	36.0	41.1	31.6
イギリス	39.5	21.7	29.3	9.5	39.5	45.2	33.4
アメリカ	37.7	14.5	39.7	8.1	37.7	43.9	31.7
OECD平均	31.1	14.9	41.7	12.3	31.3	36.3	26.1

注) 正答率は、完全正答した生徒の割合である。

問4は、二つの文の矛盾について熟考して批判することが求められている問題である。

OECD加盟国の平均正答率が31%であるからかなりの難問である。我が国の平均正答率は41%でOECD平均より10%高い。日本より高い国はフィンランドのみである。

インフルエンザに関する問5

通知によると、町田さんに連絡しなければならないのは、次の社員のうちだれですか。

- A 売り場の鈴木さん。生まれつき備わっている抵抗力に頼ったほうがよいと考えて、予防接種を希望しない。
- B 販売の吉田さん。予防接種プログラムが義務かどうか知りたがっている。
- C 郵便課の渡辺さん。この冬に予防接種を受けたいが、2か月後に出産を控えている。
- D 経理課の青木さん。予防接種を希望しているが、11月17日の週は休暇を予定している。

問5の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス: 解釈

タイプ: 議論・説得

状況・目的: 職業

問5の正答はDであり、結果は下に示した。

インフルエンザに関する問5の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	6.5	8.3	25.0	54.2	6.1	54.2	58.8	49.4
オーストラリア	6.6	11.4	22.8	55.9	3.2	55.9	62.5	50.6
カナダ	5.7	15.9	26.0	49.8	2.6	49.8	53.6	46.1
フィンランド	5.5	6.3	18.7	46.8	22.7	46.8	51.2	42.4
フランス	11.6	10.1	19.8	42.8	15.5	42.8	48.7	36.7
ドイツ	6.1	9.5	18.0	41.9	24.5	41.9	45.2	38.1
アイルランド	4.6	10.1	25.9	55.1	4.3	55.1	58.9	51.4
イタリア	12.2	14.2	23.6	32.8	17.3	32.8	34.9	30.8
韓国	4.4	11.8	24.5	58.4	0.9	58.4	62.3	55.2
ニュージーランド	6.0	11.5	24.4	55.5	2.6	55.5	64.8	47.6
イギリス	4.3	12.4	29.6	49.3	4.4	49.3	51.4	47.0
アメリカ	6.3	22.3	23.6	46.0	1.7	46.0	51.1	41.1
OECD平均	9.1	11.8	23.1	45.1	10.9	45.1	50.1	40.3

注) 正答率は、正答Dに解答した生徒の割合である。

問5は、実用的な文章を解釈して正確に理解することが求められる問題である。

OECD加盟国の平均正答率が45%であるのに対して、我が国の平均正答率は54%と9%高い。

落書きに関する問題

落書き

学校の壁の落書きに頭に来ています。壁から落書きを消して塗り直すのは、今度が4度目だからです。創造力という点では見上げたものだけども、社会に余分な損失を負担させないで、自分を表現する方法を探すべきです。

禁じられている場所に落書きするという、若い人たちの評価を落とすようなことを、なぜするのでしょうか。プロの芸術家は、通りに絵をつるしたりなんかしないで、正式な場所に展示して、金銭的援助を求め、名声を獲得するのではないのでしょうか。

わたしの考えでは、建物やフェンス、公園のベンチは、それ自体がすでに芸術作品です。落書きでそうした建築物を台なしにするというのは、ほんとに悲しいことです。それだけではなくて、落書きという手段は、オゾン層を破壊します。そうした「芸術作品」は、そのたびに消されてしまうのに、この犯罪的な芸術家たちはなぜ落書きをして困らせるのか、本当に私は理解できません。

ヘルガ

十人十色。人の好みなんてさまざまです。世の中はコミュニケーションと広告であふれています。企業のロゴ、お店の看板、通りに面した大きくて目ざわりなポスター。こういうのは許されるのでしょうか。そう、大抵は許されます。では、落書きは許されますか。許せるという人もいれば、許せないという人もいます。

落書きのための代金はだれが払うのでしょうか。だれが最後に広告の代金を払うのでしょうか。その通り、消費者です。

看板を立てた人は、あなたに許可を求めましたか。求めています。それでは、落書きをする人は許可を求めなければいけませんか。これは単に、コミュニケーションの問題ではないのでしょうか。あなた自身の名前も、非行少年グループの名前も、通りで見かける大きな製作物も、一種のコミュニケーションではないかしら。

数年前に店で見かけた、しま模様やチェックの柄の洋服はどうでしょう。それにスキーウェアも。そうした洋服の模様や色は、花模様が描かれたコンクリートの壁をそっくりそのまま真似たものです。そうした模様や色は受け入れられ、高く評価されているのに、それと同じスタイルの落書きが不愉快とみなされているなんて、笑ってしまいます。

芸術多難の時代です。

ソフィア

前ページの2通の手紙は、落書きについての手紙で、インターネットから送られてきたものです。落書きとは、壁など所かまわずに書かれる違法な絵や文章です。この手紙を読んで、問1～4に教えてください。

落書きに関する問1

この二つの手紙のそれぞれに共通する目的は、次のうちどれですか。

- A 落書きとは何かを説明する。
- B 落書きについて意見を述べる。
- C 落書きの人気を説明する。
- D 落書きを取り除くのにどれほどお金がかかるかを人びとに語る。

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：議論・説得

状況・目的：公共

問1の正答はBであり、結果は表2.4.7に示した。

表2.4.7 落書きに関する問1の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	6.5	84.5	1.6	5.4	2.0	84.5	87.3	81.7
オーストラリア	2.2	83.5	3.2	10.0	1.0	83.5	87.3	80.5
カナダ	2.7	86.1	2.3	7.8	1.0	86.1	89.3	83.3
フィンランド	2.2	85.2	1.9	6.5	4.2	85.2	91.6	78.0
フランス	2.6	71.6	3.0	10.2	12.5	71.6	74.5	68.6
ドイツ	2.1	72.1	3.3	12.8	9.7	72.1	75.1	69.7
アイルランド	4.2	80.7	2.3	10.2	2.5	80.7	84.7	76.5
イタリア	3.0	74.9	4.5	11.3	6.2	74.9	78.9	71.3
韓国	5.0	90.5	0.7	3.4	0.3	90.5	91.4	89.8
ニュージーランド	3.5	83.7	3.0	8.9	0.9	83.7	88.2	79.3
イギリス	2.6	79.1	2.9	12.0	3.3	79.1	82.4	76.2
アメリカ	4.7	84.0	3.4	7.1	0.8	84.0	87.8	79.7
OECD 平均	3.7	76.7	3.4	11.8	4.5	76.7	79.8	73.6

注) 正答率は、正答Bに解答した生徒の割合である。

問1は、二つの手紙の内容を正確に理解し、二つの手紙の共通の目的を明らかにさせる問題である。この問題は、議論や説得を目的にした公的な文章を正確に解釈することをねらいとしている。

OECD加盟国の平均正答率77%に対して、わが国の正答率は85%である。わが国の正答率を上回っているのは、韓国とカナダのみである。

落書きに関する問2

ソフィアが広告を引き合いに出している理由は何ですか。

.....

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

- プロセス：解釈
- タイプ：議論・説得
- 状況・目的：公共

問2の採点基準は下記のとおりであり、結果は表2.4.8に示した。

落書きに関する問2の採点基準	
コード	回答
正答（1点）	
1	落書きと広告を比較していることを理解している。広告は落書きの合法的な一形態という考えに沿って答えている。 または：広告を引き合いに出すことが、落書きを擁護する手段の一つであることを理解している。
誤答／無答（0点）	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。
9	無答

表2.4.8 落書きに関する問2の結果 (単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	42.2	29.0	28.8	42.2	44.0	40.4
オーストラリア	45.0	49.4	5.6	45.0	47.8	42.9
カナダ	52.2	43.0	4.8	52.2	57.0	47.5
フィンランド	57.8	33.8	8.5	57.8	62.9	52.0
フランス	64.5	26.4	9.1	64.5	68.1	60.7
ドイツ	50.1	32.3	17.6	50.1	56.6	44.0
アイルランド	59.7	35.4	4.9	59.7	65.5	54.3
イタリア	52.5	34.3	13.3	52.5	59.9	45.7
韓国	60.2	33.4	6.4	60.2	62.4	58.5
ニュージーランド	49.8	44.3	5.9	49.8	52.6	47.1
イギリス	51.6	41.7	6.8	51.6	53.1	50.6
アメリカ	45.5	50.1	4.4	45.5	49.6	40.8
OECD平均	53.4	36.3	10.2	53.4	57.8	49.1

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

問2は、落書きについての賛否両論の意見文を読んで、その内容について論理的な関係性を分析・解釈し、論述形式で答えさせる問題である。

OECD加盟国の平均正答率53%に対して、わが国の正答率は42%と11%低い。

落書きに関する問3

あなたは、この2通の手紙のどちらかに賛成しますか。片方あるいは両方の手紙の内容にふれながら、自分なりの言葉を使ってあなたの答えを説明してください。

.....

.....

.....

問3の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：議論・説得

状況・目的：公共

問3の採点基準は下記のとおりであり、結果は表2.4.9に示した。

落書きに関する問3の採点基準	
コード	回答
正答（1点）	
1	片方または両方の手紙の内容にふれながら意見をのべている。手紙の筆者の主張全般（落書きに賛成か反対か）や意見の詳細を説明していてもよい。手紙の筆者の意見に対して、説得力のある解釈をしていること。課題文の内容を言い換えて説明しているのはよいが、何も変更や追加をせずに課題文全部または大部分を引用するのは不可。
誤答／無答（0点）	
0	自分の考え方の根拠が、課題文のそのままの引用に終わっている。（「」で囲ってあってもなくてもよい。） または：不十分な答えもしくは漠然とした答え。
9	無答

表 2.4.9 落書きに関する問3の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	71.1	13.7	15.2	71.1	75.9	66.3
オーストラリア	65.8	29.4	4.8	65.8	68.8	62.8
カナダ	71.6	25.2	3.2	71.6	77.9	65.7
フィンランド	72.1	24.9	3.0	72.1	77.7	65.9
フランス	69.1	23.5	7.4	69.1	74.1	64.0
ドイツ	64.0	25.3	10.7	64.0	71.2	56.9
アイルランド	78.7	18.2	3.1	78.7	84.6	72.9
イタリア	63.8	26.2	10.0	63.8	73.5	54.8
韓国	71.9	23.4	4.6	71.9	75.6	68.9
ニュージーランド	77.0	20.1	2.9	77.0	81.4	72.5
イギリス	76.9	18.7	4.4	76.9	82.6	72.0
アメリカ	74.4	22.4	3.2	74.4	78.6	69.6
OECD 平均	67.8	25.4	6.8	67.8	73.6	61.9

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

問3は、2通の手紙のどちらに賛成するかを、論拠を明確にして自分の言葉で答えることを求める問題である。両方の手紙に触れて論拠を明確にしていることと、自分の意見を明確に主張することが求められる。わが国の正答率は約7割でほとんどの生徒が正答している。

落書きに関する問4

手紙に何が書かれているか、内容について考えてみましょう。

手紙がどのような書き方で書かれているか、スタイルについて考えてみましょう。

どちらの手紙に賛成するかは別として、あなたの意見では、どちらの手紙がよい手紙だと思いますか。片方あるいは両方の手紙の書き方にふれながら、あなたの答えを説明してください。

.....

.....

.....

問4の出題の意図は以下のとおりである。

- プロセス：熟考と評価
- タイプ：議論・説得
- 状況・目的：公共

問4の採点基準は下記のとおりであり、結果は表 2.4.10 に示した。

落書きに関する問4の採点基準	
コード	回答
正答 (1点)	
1	片方または両方の手紙のスタイルについて意見を述べている。文体、議論の組立て、議論の説得力、論調、用語、読み手に訴える手法などの特徴を説明している。「よい議論」と述べている場合、それについての立証が必要である。
誤答/無答 (0点)	
0	筆者の主張に対する賛成または反対の観点から判断を下している。または単に内容を言い換えている。 または：十分な説明なしに判断を下している。
9	無答

表 2.4.10 落書きに関する問4の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	54.7	18.2	27.1	54.7	60.8	48.5
オーストラリア	48.7	42.1	9.1	48.7	56.5	42.0
カナダ	57.7	34.6	7.7	57.7	65.9	50.1
フィンランド	53.3	38.1	8.7	53.3	63.1	42.2
フランス	32.9	50.1	17.0	32.9	38.0	27.5
ドイツ	48.7	31.9	19.4	48.7	55.5	42.4
アイルランド	47.9	45.2	6.9	47.9	58.2	38.4
イタリア	41.8	37.2	21.0	41.8	50.7	33.3
韓国	48.1	44.1	7.8	48.1	48.9	47.4
ニュージーランド	53.3	37.9	8.8	53.3	59.1	47.4
イギリス	56.9	34.3	8.8	56.9	67.0	47.5
アメリカ	43.5	50.5	6.1	43.5	51.3	34.5
OECD 平均	45.2	40.8	13.9	45.2	51.9	38.7

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

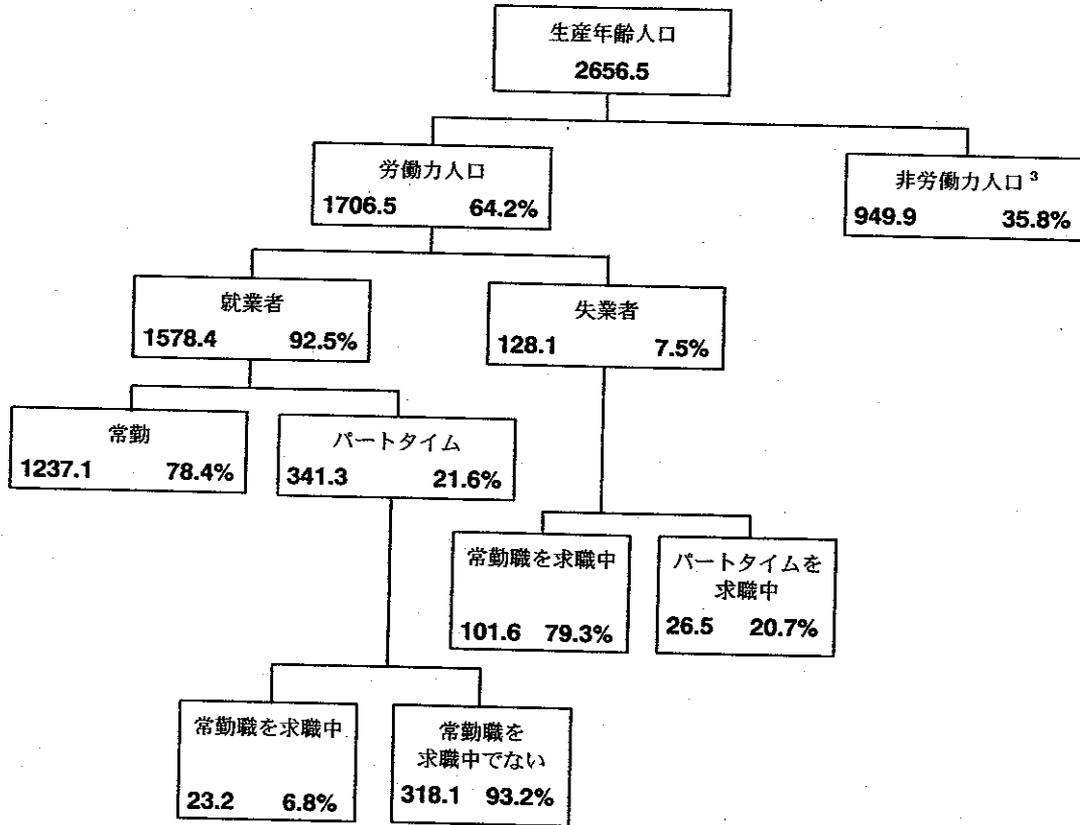
問4は、手紙の内容とスタイルについて考えさせた上で、どちらの手紙がよい手紙であるかを論じさせる問題である。本文に書かれていることを根拠にして、説得力のある意見を述べるのが求められている。

OECD加盟国の平均正答率45%に対して、わが国の正答率は55%である。わが国の正答率を上回っているのは、カナダとイギリスのみである。

労働力に関する問題

次の樹形図は、ある国の「生産年齢人口」、すなわち労働力の構成を示した図です。この国の1995年の総人口は約340万人でした。

1995年3月31日現在の労働力構成 (単位：千人)¹



注

1. 単位：千人。
2. 生産年齢人口とは、年齢15～65歳の人口をいう。
3. 非労働力人口とは、現に求職活動をしておらず、かつ・または、働けない人々をいう。

前ページの、ある国の労働力に関する樹形図を見て、問1～5に答えてください。

労働力に関する問1

生産年齢人口は、二つの大きなグループに分けられます。次のうち、どのグループとどのグループでしょうか、次のうちから一つ選んでください。

- A 就業者と失業者
- B 生産年齢人口と非生産年齢人口
- C 常勤労働者とパートタイム労働者
- D 労働力人口と非労働力人口

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：図式・概要

状況・目的：教育

問1の正答はDであり、結果は表2.4.2に示した。

表2.4.2 労働力に関する問1の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	3.9	11.3	5.2	72.0	2.5	72.0	73.9	70.0
オーストラリア	23.4	3.6	7.7	63.1	2.2	63.1	63.1	63.0
カナダ	17.8	5.0	10.0	65.5	1.7	65.5	66.8	64.2
フィンランド	19.0	2.8	3.8	70.7	3.7	70.7	74.4	67.1
フランス	17.6	7.8	8.9	56.0	9.6	56.0	57.6	54.8
ドイツ	11.2	8.4	8.4	61.4	10.5	61.4	64.0	58.9
アイルランド	22.4	3.2	11.8	58.7	3.8	58.7	64.1	53.9
イタリア	12.9	8.6	7.1	66.1	5.3	66.1	68.6	63.8
韓国	6.2	10.3	4.5	77.9	1.2	77.9	80.5	75.9
ニュージーランド	25.4	3.3	7.4	62.6	1.3	62.6	65.5	60.1
イギリス	19.1	5.7	8.2	61.8	5.2	61.8	63.0	60.7
アメリカ	21.1	3.9	9.1	64.7	1.3	64.7	66.5	62.9
OECD 平均	16.0	7.6	8.1	62.9	5.4	62.9	66.0	60.1

注) 正答率は、正答Dに解答した生徒の割合である。

問1は、図の構造を論理的にとらえる問題である。わが国は72点で韓国に次いで高い。

労働力に関する問2

生産年齢人口のうちで、非労働力人口は何人ですか（パーセントではなく、人数を教えてください）。

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：図式・概要

状況・目的：教育

問2の採点基準は下記のとおりであり、結果は表2.4.3に示した。

労働力に関する問2の採点基準	
コード	解答
完全正答	
2	樹形図中の数字と、標題／脚注に示された「単位：千人」を結び付けて、949,900と書くこと。949,000～950,000の間なら、概算値でも可。また、修飾語を付けて900,000または100万（数字でも漢数字でも）でも可。
部分正答	
1	樹形図の数字は示されているが、標題／脚注に示された「単位：千人」の数値と結び付けられていないことを示している。949.9を数字または漢数字で答えている。コード2で示したような概算値で答えてもよい。
誤答／無答	
0	その他の答え。
9	無答

表2.4.3 労働力に関する問2の結果

(単位：%)

国名	反 応 率				正 答 率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	41.5	23.8	20.4	14.4	53.3	49.9	56.9
オーストラリア	34.7	42.3	18.2	4.8	55.8	54.9	56.4
カナダ	36.7	37.3	22.3	3.7	55.3	54.5	56.3
フィンランド	42.4	36.8	14.9	5.9	60.8	61.8	59.8
フランス	42.3	31.6	18.8	7.3	58.1	58.6	58.1
ドイツ	28.4	35.1	24.3	12.2	45.9	45.6	46.0
アイルランド	28.5	43.8	21.8	5.9	50.4	48.8	52.3
イタリア	16.8	44.0	22.2	17.0	38.8	35.9	41.5
韓国	13.4	25.5	51.5	9.6	26.1	23.3	28.3
ニュージーランド	36.1	39.0	20.3	4.7	55.6	58.1	54.0
イギリス	27.7	49.5	18.6	4.2	52.5	53.6	51.4
アメリカ	22.8	51.0	20.8	5.4	48.3	50.5	46.1
OECD 平均	27.9	37.0	24.6	10.5	46.4	46.3	46.7

注) 正答率は、完全正答した生徒の割合に部分正答の生徒の割合を0.5倍して加えたものである。

樹形図中の数字と、標題／脚注に示された「単位：千人」との関係論理的に結びつける問題である。わが国の完全正答の割合はOECD平均より高い。

労働力に関する問3

次の表に、いろいろな人びとが例示してあります。それぞれ樹形図のどの区分に当てはまるとお考えですか。

該当すると思う四角に×印をつけてください。

1行目は例です。

	「労働力人口：就業者」	「労働力人口：失業者」	「非労働力人口」	どの区分にも当てはまらない
パートタイムのウェ이터、年齢 35 歳	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キャリアウーマン、年齢 43 歳、週労働時間は 60 時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
昼間部の学生、年齢 21 歳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
男性、年齢 28 歳、最近自分の店を売り、仕事を探している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
女性、年齢 55 歳、家事以外の労働をしたことがなく、希望したこともない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
高齢の女性、年齢 80 歳、今も家族の経営する店で 1 日数時間働いている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問3の出題の意図は以下のとおりである。

- プロセス：解釈
- タイプ：図式・概要
- 状況・目的：教育

問3の採点基準は下記のとおりであり、結果は表 2.4.4 に示した。

労働力に関する問3の採点基準	
例示された人々	正答（×印をつける四角）
キャリアウーマン、年齢 43 歳、週労働時間は 60 時間	労働力人口：就業者
昼間部の学生、年齢 21 歳	どの区分にも当てはまらない
男性、年齢 28 歳、最近自分の店を売り、仕事を探している	労働力人口：失業者
女性、年齢 55 歳、家事以外の労働をしたことがなく、希望したこともない	どの区分にも当てはまらない
高齢の女性、年齢 80 歳、今も家族の経営する店で 1 日数時間働いている	どの区分にも当てはまらない

表 2.4.4 労働力に関する問3の結果

(単位:%)

国名	反 応 率							正 答 率		
	5つ 正答	4つ 正答	3つ 正答	2つ 正答	1つ 正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	16.6	18.7	34.4	12.6	6.8	2.3	8.7	43.2	43.8	42.6
オーストラリア	16.7	22.0	28.9	17.0	10.6	2.4	2.4	42.1	45.9	39.0
カナダ	15.5	28.2	28.8	15.5	8.3	2.3	1.3	44.0	45.1	43.0
フィンランド	21.1	25.6	30.0	16.3	4.5	1.1	1.4	48.9	50.2	47.6
フランス	23.1	32.4	21.4	14.6	3.9	1.8	2.8	50.0	49.3	51.0
ドイツ	11.5	21.8	25.5	16.1	14.1	4.9	6.1	35.1	35.4	34.7
アイルランド	14.5	25.3	28.7	16.5	10.4	3.2	1.5	41.5	43.9	39.4
イタリア	1.0	38.7	28.5	18.2	9.2	1.4	3.0	34.6	35.7	33.7
韓国	9.1	18.3	29.4	19.3	13.1	6.2	4.6	33.0	31.8	34.0
ニュージーランド	17.2	23.2	28.6	18.5	7.9	2.4	2.2	43.1	47.5	39.4
イギリス	15.3	20.0	28.3	19.0	11.4	3.1	2.9	39.4	43.0	35.9
アメリカ	14.2	19.0	32.0	18.9	7.9	4.2	3.7	39.8	42.4	37.2
OECD 平均	13.4	23.8	28.2	17.0	10.0	3.3	4.3	39.4	40.8	38.1

注) 正答率は、5つ正答した生徒の割合に4つ及び3つ正答した生徒の割合を0.5倍して加えたものである。

問3は、図の中の抽象的な概念と具体的な事例との論理的な関係を問う問題である。わが国は OECD 平均より高い。

労働力に関する問4

労働力に関する情報が、このような樹形図の形で毎年提示されるとします。

下記は、樹形図の四つの要素です。これらの要素は、毎年変わると思われますか、それとも変わらないと思われますか。「変わる」、「変わらない」のどちらかに○をつけてください。

1行目は例です。

樹形図中の要素	答 え
四角の中の標題（「労働力人口」など）	変わる / <u>変わらない</u>
パーセント（「64.2%」など）	変わる / 変わらない
数字（「2656.5」など）	変わる / 変わらない
樹形図の脚注	変わる / 変わらない

問4の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：図式・概要

状況・目的：教育

問4において、「パーセント」と「数字」の正答は「変わる」で、「樹形図の脚注」の正答は「変わらない」というものであり、結果は表2.4.5に示した。

表2.4.5 労働力に関する問4の結果 (単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	3つ 正答	2つ 正答	1つ 正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	80.2	10.4	5.5	0.8	3.1	80.2	82.8	77.4
オーストラリア	73.3	11.5	8.8	2.1	4.3	73.3	78.3	68.9
カナダ	75.5	13.0	7.3	1.8	2.4	75.5	79.0	72.6
フィンランド	80.5	11.2	5.1	0.7	2.4	80.5	83.4	77.7
フランス	76.0	11.8	6.4	0.9	4.9	76.0	79.4	73.0
ドイツ	64.2	14.0	9.2	2.9	9.6	64.2	65.0	63.2
アイルランド	74.1	11.8	9.0	1.7	3.4	74.1	78.2	70.9
イタリア	75.7	9.2	7.6	0.9	6.6	75.7	78.6	73.5
韓国	66.6	20.3	9.0	1.9	2.1	66.6	65.1	67.9
ニュージーランド	74.2	14.1	5.7	1.9	4.1	74.2	80.1	69.6
イギリス	76.0	11.7	6.0	1.7	4.6	76.0	81.1	70.4
アメリカ	67.3	15.7	10.0	2.5	4.5	67.3	69.8	64.8
OECD 平均	69.1	13.5	9.7	1.8	5.9	69.1	72.1	66.5

注) 正答率は、3つ正答した生徒の割合である。

問4は、図の中に示された四つの要素について、時間の変化によって変わるものかどうかを論理的に考えさせる問題である。わが国の正答率はフィンランドに次いで2位である。

労働力に関する問5

ここでは労働力構成に関する情報を樹形図の形で示しましたが、ほかにもたくさん表現法があります（文章で説明する、各種グラフ、表など）。

樹形図を選んだのは、あることを示すのに特に便利だからです。それは何か、次のうちから一つ選んでください。

- A 時間を追った変化
- B 国の総人口規模
- C 各グループの中の細かい区分
- D 各グループの規模

問5の出題の意図は以下の通りである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：図式・概要

状況・目的：教育

問5の正答はCであり、結果は表2.4.6に示した。

表2.4.6 労働力に関する問5の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	5.3	8.3	65.3	18.5	2.6	65.3	67.6	62.9
オーストラリア	8.2	4.1	74.1	11.6	2.0	74.1	79.7	69.3
カナダ	7.0	4.7	77.0	9.5	1.8	77.0	78.9	75.0
フィンランド	10.9	4.4	61.3	17.5	5.8	61.3	68.3	54.5
フランス	7.3	5.3	70.6	7.5	9.5	70.6	75.6	65.8
ドイツ	11.6	8.2	57.1	10.4	12.6	57.1	57.9	56.8
アイルランド	10.0	3.9	70.0	12.3	3.9	70.0	76.9	63.3
イタリア	14.5	5.6	67.2	6.4	6.3	67.2	69.6	65.2
韓国	8.5	3.9	51.1	35.2	1.2	51.1	55.7	47.6
ニュージーランド	8.7	4.1	75.1	9.2	2.9	75.1	81.5	69.5
イギリス	9.3	6.5	68.5	11.2	4.5	68.5	72.8	64.2
アメリカ	9.9	6.8	74.0	7.1	2.1	74.0	79.2	69.0
OECD 平均	10.2	7.8	62.4	13.2	6.5	62.4	66.4	58.6

注) 正答率は、正答Cに解答した生徒の割合である。

問5は、なぜ樹形図を使ったかを論理的にとらえさせる問題である。わが国の正答率はOECD平均より高い。

プラン・インターナショナルに関する問題

1996年度のプラン・インターナショナル実績

アフリカ東部および南部地域

RESA

健康に育つ

	エジプト	エチオピア	イタ	アラウ	スーダン	タンザニア	ウガンダ	ガンビア	ジンバブエ	合計
保健出張所（4室以内）の建設	1	0	6	0	7	1	2	0	9	26
1日の研修を受けたヘルスワーカー	1 053	0	719	0	425	1 003	20	80	1085	4 385
栄養補助剤を1週間以上支給された児童	10 195	0	2 240	2 400	0	0	0	0	251 402	266 237
医療費／歯科治療代を給付されている児童	984	0	396	0	305	0	581	0	17	2 283

学習

1週間の研修を受けた教員	0	0	367	0	970	115	565	0	303	2 320
ノートの購入／寄贈	667	0	0	41 200	0	69 106	0	150	0	111 123
教科書の購入／寄贈	0	0	45 650	9 600	1 182	8 769	7 285	150	58 387	131 023
制服の購入／仕立／寄贈	8 897	0	5 761	0	2 000	6 040	0	0	434	23 132
授業料／奨学金の援助	12 321	0	1 598	0	154	0	0	0	2 014	16 087
学習機の製作／購入／寄贈	3 200	0	3 689	250	1 564	1 725	1 794	0	4 109	16 331
本格的な教室の建設	44	0	50	8	93	31	45	0	82	353
教室の補修	0	0	34	0	0	14	0	0	33	81
当年度の成人読み書き教育実施	1 160	0	3 000	568	3 617	0	0	0	350	8 695

居住環境

トイレまたは野外トイレの設置	50	0	2 403	0	57	162	23	96	4 311	7 102
新規下水設備に接続した家屋	143	0	0	0	0	0	0	0	0	143
井戸掘り／改修（または井戸にふたをかぶせる工事）	0	0	15	0	7	13	0	0	159	194
新しい井戸の試掘	0	0	8	93	14	0	27	0	220	362
落下式飲料水設備工事	0	0	28	0	1	0	0	0	0	29
飲料水設備の補修／改修	0	0	392	0	2	0	0	0	31	425
プラン・プロジェクトによる住宅改修工事	265	0	520	0	0	0	1	0	2	788
公営住宅新設工事	225	0	596	0	0	2	6	0	313	1 142
コミュニティホールの建設または改修	2	0	2	0	3	0	3	0	2	12
1日以上の研修を受けた地域指導者	2 214	95	3 522	232	200	3 575	814	20	2 693	13 365
道路の改修延長（キロメートル）	1.2	0	26	0	0	0	0	0	53.4	80.6
橋の建設	0	0	4	2	11	0	0	0	1	18
水防工事により直接利益をえた世帯	0	0	1 092	0	1 500	0	0	0	18 405	20 997
電化プロジェクトによる新規供給家屋	448	0	2	0	0	0	0	0	44	494



プラン・インターナショナルに関する問題

前ページの表は、国際援助機関のプラン・インターナショナルが発表した報告書の一部で、この団体の活動地域（アフリカ東部および南部）での活動内容が紹介されています。この表を見て、問1～2に教えてください。

プラン・インターナショナルに関する問1

この表によると、1996年におけるプラン・インターナショナルのエチオピアでの活動の水準は、この地域の他の国々での活動と比べてどうなっていますか。次のうちから一つ選んでください。

- A エチオピアでの活動水準は比較的高い。
- B エチオピアでの活動水準は比較的低い。
- C この地域の他の国々とほぼ同水準である。
- D 居住環境の面では水準が比較的高いが、ほかの分野では低い。

(問2と組み合わせて採点したため、単独ではデータなし)

プラン・インターナショナルに関する問2

1996年の時点で、エチオピアは世界で最も貧しい国の一つです。

この地域の他の国々での活動と比べ、プラン・インターナショナルのエチオピアでの活動がなぜこの水準なのか、表に示された活動内容や実績をもとに考えられる理由を記してください。

.....

.....

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：表

状況・目的：公共

問2の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問2の結果」に示した。

プラン・インターナショナルに関する問2の採点基準	
コード	解答
完全正答	
3	問1の質問に正解(選択肢B)した生徒で、提示されたすべての情報を参照してプラン・インターナショナルの活動水準を説明し、エチオピアで行っている活動の種類について明白にまたは暗に説明している。次の両方の主旨に沿って(説明する必要はないか)答えていること。 (1) プラン・インターナショナルのエチオピアでの低い活動水準(表に提示された情報)、および (2) エチオピアの貧困(問題文からの情報)。
部分正答	
2	問1の質問に正解(選択肢B)した生徒で、提示された大部分の情報を参照してプラン・インターナショナルの活動水準を説明していること。次の両方の主旨に沿って(説明する必要はないか)答えていること。 (1) プラン・インターナショナルのエチオピアでの低い活動水準(表に提示された情報)、および (2) エチオピアの貧困(問題文からの情報)。
部分正答	
1	問1の質問に正解(選択肢B)した生徒で、提示された一部の情報を参照してプラン・インターナショナルの活動水準を説明している。プラン・インターナショナルのエチオピアでの低い活動水準(表に提示された情報)に沿って(説明する必要はないか)答えていること。 または：問1の質問に正解しなかった(選択肢B以外)生徒で、提示された一部の情報を参照してプラン・インターナショナルの活動水準を説明している。次の両方の主旨に沿って(説明する必要はないか)答えていること。 (1) 問1で答えたエチオピアでの活動水準(説明自体が正しくなくてもよい)、および (2) エチオピアの貧困(問題文からの情報)。
誤答/無答	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答えをあげている。 または：表の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答えをあげている。
9	無答

プラン・インターナショナルに関する問2の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	完全正答	部分正答2	部分正答1	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	4.3	13.2	26.7	15.9	39.8	10.9	14.2	7.6
オーストラリア	2.7	10.1	5.0	64.2	18.0	7.8	8.8	6.9
カナダ	2.3	13.0	9.8	59.1	15.8	8.8	9.6	8.1
フィンランド	1.7	25.5	4.1	45.0	23.8	14.4	14.9	13.9
フランス	2.9	7.0	14.4	34.4	41.3	6.4	7.2	5.7
ドイツ	2.5	11.3	7.4	31.0	47.8	8.1	9.3	7.1
アイルランド	3.6	20.1	2.7	54.1	19.4	13.7	13.0	14.5
イタリア	2.5	16.0	6.8	34.3	40.3	10.5	9.8	11.3
韓国	8.0	25.9	24.1	30.6	11.4	20.9	21.6	20.3
ニュージーランド	3.1	8.7	3.8	68.7	15.7	7.4	7.9	7.0
イギリス	1.7	13.7	2.1	59.1	23.3	8.5	7.4	9.9
アメリカ	1.2	10.4	2.6	75.4	10.4	6.4	7.0	5.6
OECD平均	3.3	14.5	9.9	42.6	29.7	10.6	11.0	10.2

注) 正答率は、完全正答した生徒の割合に部分正答2の生徒の割合を0.5倍して加えたものである。

警察に関する問題

前ページの雑誌記事を読んで、問1～4に答えてください。

警察に関する問1

筆者は真珠のネックレスに例えてDNAの構造を説明しています。この真珠のネックレスは個人個人でどう違いますか。次のうちから一つ選んでください。

- A 長さが異なる。
- B 真珠の配列順序が違う。
- C ネックレスの数が異なる。
- D 真珠の色が違う。

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：解説

状況・目的：教育

問1の正答はBであり、結果は表2.4.11に示した。

表 2.4.11 警察に関する問1の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	2.5	77.0	4.1	14.6	2.0	77.0	79.4	74.6
オーストラリア	4.6	61.8	3.3	28.7	1.5	61.8	60.9	63.0
カナダ	3.7	61.5	4.6	29.0	1.4	61.5	63.2	59.9
フィンランド	1.6	75.4	3.1	16.3	3.6	75.4	78.1	72.4
フランス	4.9	65.6	3.3	18.1	8.1	65.6	66.8	64.3
ドイツ	3.6	62.7	3.7	21.0	8.9	62.7	63.9	61.9
アイルランド	2.6	50.0	4.0	41.5	1.9	50.0	53.3	46.9
イタリア	2.8	71.8	3.9	17.6	3.8	71.8	73.0	71.0
韓国	2.5	66.0	5.0	25.4	1.1	66.0	63.8	67.8
ニュージーランド	3.1	59.5	4.3	31.7	1.4	59.5	62.1	57.1
イギリス	5.1	52.3	3.4	37.4	1.7	52.3	53.2	51.3
アメリカ	5.4	56.8	5.6	31.0	1.2	56.8	56.5	57.1
OECD平均	3.8	61.4	5.3	25.5	3.9	61.4	62.5	60.4

注) 正答率は、正答Bに解答した生徒の割合である。

実用的な文章を正確に読むことを求める問題である。わが国の正答率は12か国の中で最も高い。

警察に関する問2

「遺伝学的身分証明書はどのようにして見つけるか」という見出しの、囲みの文章にはどんな目的があると思いますか。次のうちから一つ選んでください。

- A DNA とは何かを説明すること
- B バーコードとは何かを説明すること
- C 細胞をどのように分析してDNAのパターンを見つけるかを説明すること
- D 犯罪があったことをどのように証拠立てるかを説明すること

問2の出題の意図は以下の通りである。

プロセス：解釈

タイプ：解説

状況・目的：教育

問2の正答はCであり、結果は表2.4.12に示した。

表2.4.12 警察に関する問2の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	8.2	3.7	68.8	17.6	1.6	68.8	71.6	66.1
オーストラリア	6.7	3.9	68.1	19.3	2.0	68.1	69.3	67.1
カナダ	7.5	4.3	72.2	15.2	0.8	72.2	74.2	70.3
フィンランド	8.1	5.2	69.3	14.6	2.8	69.3	74.0	64.0
フランス	6.3	2.6	65.7	17.4	8.0	65.7	68.9	62.2
ドイツ	8.7	5.6	58.7	20.0	6.9	58.7	60.2	57.8
アイルランド	7.5	4.4	63.7	22.4	2.0	63.7	63.7	63.9
イタリア	9.1	2.6	60.4	23.2	4.7	60.4	64.3	57.0
韓国	16.7	3.6	56.0	23.1	0.6	56.0	60.0	52.9
ニュージーランド	5.5	3.3	69.8	20.7	0.8	69.8	68.5	71.0
イギリス	6.5	5.1	63.8	22.7	1.7	63.8	65.3	63.0
アメリカ	7.5	5.0	68.8	18.1	0.6	68.8	69.1	68.4
OECD平均	9.9	4.7	59.4	22.5	3.5	59.4	60.7	58.2

注) 正答率は、正答Cに解答した生徒の割合である。

問2は文章の意図や目的を把握させる問題である。わが国の正答率は、OECD平均より高い。

警察に関する問3

この文章で筆者の最大の目的は何ですか。次のうちから一つ選んでください。

- A 警告すること
- B 楽しませること
- C 情報を伝えること
- D 納得させること

問3の出題の意図は以下の通りである。

- プロセス：解釈
- タイプ：解説
- 状況・目的：教育

問3の正答はCであり、結果は表2.4.13に示した。

表2.4.13 警察に関する問3の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	17.4	1.2	50.4	29.8	1.2	50.4	50.1	50.7
オーストラリア	7.3	1.3	79.2	11.0	1.2	79.2	81.7	76.7
カナダ	3.6	1.4	87.1	7.1	0.8	87.1	90.1	84.1
フィンランド	3.0	0.5	83.2	11.2	2.1	83.2	86.3	79.8
フランス	2.9	1.2	83.1	6.8	6.0	83.1	85.7	80.2
ドイツ	7.1	1.6	78.5	5.3	7.4	78.5	82.5	74.8
アイルランド	8.9	1.3	76.7	12.1	1.0	76.7	77.5	76.4
イタリア	5.7	0.7	88.0	2.9	2.8	88.0	90.7	85.9
韓国	8.5	1.1	85.9	4.0	0.5	85.9	86.4	85.6
ニュージーランド	4.8	1.9	82.7	10.0	0.5	82.7	83.2	82.3
イギリス	11.7	1.1	73.1	12.5	1.5	73.1	73.3	73.1
アメリカ	4.6	2.3	84.1	8.4	0.7	84.1	86.9	80.9
OECD平均	6.4	1.3	80.5	8.9	2.9	80.5	82.7	78.4

注) 正答率は、正答Cに解答した生徒の割合である。

問3は文章の最大の目的を尋ねる問題である。わが国の正答率は、OECD平均より32%低く、12か国の中で最も低い。

警察に関する問4

最初の囲み（灰色になっている文章）の最後に「だが、それをどう立証するか問題です」という文章があります。

この文章によると、警察は、この問題の答えをどうやって見つけようとしていますか。次のうちから一つ選んでください。

- A 証人を尋問すること
- B 遺伝学的分析を行うこと
- C 容疑者を徹底的に尋問すること
- D 捜査結果を全部もう一度調べ直すこと

問4の出題の意図は以下の通りである。

プロセス：解釈

タイプ：解説

状況・目的：教育

問4の正答はBであり、結果は表2.4.14に示した。

表2.4.14 警察に関する問4の結果

(単位：%)

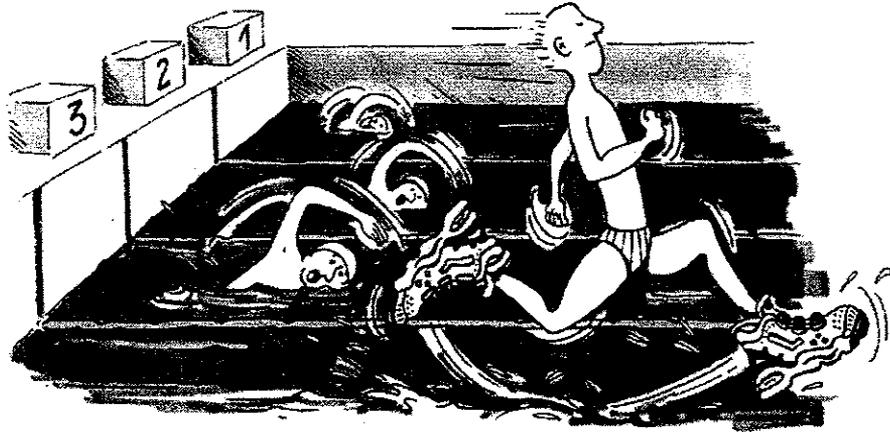
国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	2.7	82.4	7.1	6.4	1.3	82.4	86.6	78.3
オーストラリア	2.6	81.7	7.2	7.3	1.2	81.7	82.1	81.4
カナダ	2.3	84.3	5.6	6.6	1.1	84.3	85.8	82.9
フィンランド	3.4	86.9	3.8	3.1	2.8	86.9	88.0	85.6
フランス	1.6	85.5	2.5	3.3	7.0	85.5	88.8	81.7
ドイツ	4.0	80.6	3.9	4.1	7.4	80.6	81.2	80.5
アイルランド	2.3	85.0	4.2	6.8	1.7	85.0	86.3	83.8
イタリア	2.8	77.1	3.6	11.3	5.2	77.1	81.0	73.8
韓国	3.1	82.3	5.9	7.8	0.9	82.3	83.6	81.2
ニュージーランド	3.4	82.6	6.5	6.6	0.9	82.6	84.5	80.7
イギリス	3.9	81.9	7.3	5.1	1.8	81.9	81.4	82.5
アメリカ	4.3	78.8	7.4	8.6	0.8	78.8	81.6	75.7
OECD平均	3.8	80.8	5.1	6.8	3.5	80.8	82.8	79.0

注) 正答率は、正答Bに解答した生徒の割合である。

問4は文章の内容を正確に理解することを求める問題である。わが国の正答率は、OECD平均とほぼ同じである。

ランニングシューズに関する問題

楽しく走れるランニングシューズ



フランスにあるリヨン・スポーツ医学研究所は、14年間にわたり、スポーツをしている青少年やプロスポーツ選手のけがについて研究してきました。研究の結果、けがをしない最もよい方法は予防することで、それには良いシューズをはくことという結論が得られました。

衝突、転倒、すり切れ...

スポーツに親しんでいる8~12歳の子供のうち、18%がすでにかかるとに損傷を抱えています。サッカー選手の足首の軟骨は衝撃に対してうまく反応せず、プロ選手の25%は特にそれが弱点であると自分でも気付いています。痛めやすいひざ関節の軟骨もまた、致命的な損傷を負う可能性があり、まさに少年時代(10~12歳)から注意しないと、これが原因で早くから骨関節炎に苦しむ可能性があります。股関節(こかんせつ)も負傷と無縁ではなく、特に疲労している場合、転倒または衝突によって骨折する危険があります。

この調査によれば、10年以上プレーしてきたサッカー選手は、すねまたはかかとのいずれかの骨が突出しています。これが「サッカー足」と言われているもので、くつ

底と足首部分が柔らかすぎるシューズをはいていることに起因する変形です。

保護、サポート、安定、吸収

シューズがかたすぎると、動きを制限されます。また柔らかすぎると、けがやねんざの危険が増大します。良いスポーツシューズとは、次の四つの基準を満たしていなければなりません。

第1に、外部からの保護、つまりボールや他の選手との衝突から保護し、グラウンドのでこぼこに対処し、こごえるような寒い日や雨の日でも足を暖かく、乾いたままに保たなければなりません。

次に、足、特に足首の関節をサポートして、ねんざ、はれその他の問題の発生を防ぐこと。これはひざにまで悪影響を及ぼしかねないからです。

また、選手にとって十分な安定性があり、ぬれたグラウンドでスリップしたり、カラカラに乾燥した地面ですべることがあってはなりません。

最後に、特にバレーボールやバスケットボールの選手は、常にジャンプをしているので、強い衝撃を受けています。衝撃を吸収しなければなりません。

足の乾燥

足の豆、さらにはひび割れや水虫(菌性感染)などの小さいけれどもつらい症状を予防するため、シューズは、汗を発散させ、外部の湿気が浸入するのを防がなければなりません。これに最適な素材は皮です。皮は防水加工をすれば、雨にぬれた時にシューズに水がしみ込むのを降りはじめなら防ぐことができます。

前ページの課題文を読んで、問1～4に答えてください。

ランニングシューズに関する問1

筆者がこの文章で言おうとしているのは次のうちどれですか。

- A 多くのスポーツシューズの品質が大きく向上したこと
- B 12歳以下の場合、サッカーをしないのが一番良いこと
- C 若者が、身体能力が低いためにますますけがに悩むようになっていること
- D 若いスポーツ選手にとって、良いスポーツシューズの着用が非常に大切であること

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：解説

状況・目的：教育

問1の正答はDであり、結果は下に示した。

ランニングシューズに関する問1の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	8.4	2.0	3.5	85.7	0.5	85.7	87.4	83.9
オーストラリア	3.5	2.8	4.8	88.1	0.8	88.1	91.2	85.5
カナダ	3.6	1.6	7.1	87.2	0.6	87.2	90.8	83.9
フィンランド	3.4	1.4	2.4	90.8	2.1	90.8	96.5	84.8
フランス	3.6	1.3	3.2	85.5	6.4	85.5	89.0	82.3
ドイツ	5.9	1.6	4.9	78.2	9.3	78.2	84.0	72.7
アイルランド	2.7	1.3	5.2	90.6	0.3	90.6	92.5	88.6
イタリア	2.9	3.4	3.9	87.4	2.4	87.4	93.0	83.2
韓国	9.5	1.4	3.9	84.5	0.7	84.5	86.8	82.7
ニュージーランド	4.3	1.8	5.8	87.6	0.5	87.6	92.0	83.9
イギリス	4.5	2.5	8.8	82.8	1.5	82.8	86.9	78.4
アメリカ	7.0	2.7	12.3	77.1	0.8	77.1	83.5	70.5
OECD平均	5.2	2.2	5.2	84.6	2.9	84.6	88.7	80.7

注) 正答率は、正答Dに解答した生徒の割合である。

ランニングシューズに関する問2

課題文によれば、スポーツシューズがかたすぎるといけない理由は何ですか。

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：解説

状況・目的：教育

問2の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問2の結果」に示した。

ランニングシューズに関する問2の採点基準	
コード	解答
正答	
1	動きが制限されることにふれている。
誤答/無答	
0	課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答えをあげている。 または：不十分な答えもしくは漠然とした答えをあげている。
9	無答

ランニングシューズに関する問2の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	84.9	10.5	4.6	84.9	89.2	80.5
オーストラリア	81.4	15.8	2.8	81.4	86.6	77.0
カナダ	84.6	13.1	2.3	84.6	89.7	79.8
フィンランド	89.1	9.0	1.9	89.1	94.6	83.3
フランス	82.2	15.1	2.6	82.2	88.6	76.0
ドイツ	77.1	16.5	6.4	77.1	84.9	69.2
アイルランド	83.8	14.4	1.8	83.8	88.3	79.7
イタリア	84.7	11.7	3.6	84.7	91.4	78.6
韓国	76.1	21.9	2.0	76.1	82.7	70.9
ニュージーランド	82.3	14.7	3.0	82.3	87.9	77.4
イギリス	83.3	13.9	2.8	83.3	88.1	78.3
アメリカ	74.1	22.1	3.9	74.1	82.6	65.8
OECD平均	78.9	17.4	3.8	78.9	84.8	73.2

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

ランニングシューズに関する問3

課題文の一部に「良いスポーツシューズとは、次の四つの基準を満たしていなければなりません」と書いてあります。

これらの基準を記してください。

.....

.....

.....

.....

問3の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：解説

状況・目的：教育

問3の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問3の結果」に示した。

ランニングシューズに関する問3の採点基準	
コード	解答
正答	
1	課題文の太字で書かれた四つの基準に言及している。それぞれの基準を直接引用したり、言い換えたり、詳細に説明していてもよい。四つの基準の順序は問わない。四つの基準は次のとおり。 (1) 外部から保護する。 (2) 足をサポートする。 (3) 十分な安定性がある。 (4) 衝撃を吸収する。
誤答／無答	
0	その他の答え
9	無答

ランニングシューズに関する問3の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	73.4	18.0	8.5	73.4	77.7	69.0
オーストラリア	82.8	12.3	5.0	82.8	86.5	79.7
カナダ	87.1	10.1	2.8	87.1	90.4	84.0
フィンランド	80.4	17.9	1.7	80.4	87.1	73.4
フランス	87.0	9.2	3.8	87.0	90.0	84.1
ドイツ	63.3	27.9	8.8	63.3	70.6	56.0
アイルランド	74.1	18.5	7.4	74.1	78.6	69.9
イタリア	86.0	9.2	4.8	86.0	91.4	81.3
韓国	88.8	8.9	2.3	88.8	90.4	87.5
ニュージーランド	78.7	15.1	6.3	78.7	85.3	72.8
イギリス	75.9	16.0	8.0	75.9	80.0	71.4
アメリカ	78.2	15.3	6.4	78.2	84.8	71.5
OECD平均	75.9	19.0	5.1	75.9	80.9	71.2

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

ランニングシューズに関する問4

課題文の終わり近くにある、次の文を見てください。ここでは以下のように二つに分けて示します。

「足の豆、さらにはひび割れや水虫（菌性感染）などの小さいけれどもつらい症状を予防するため、…」 (第1部分)

「…シューズは、汗を発散させ、外部の湿気が浸入するのを防がなければなりません。」 (第2部分)

この文で第1部分と第2部分は、次のうちどのような関係にありますか。

第2部分は、

- A 第1部分と矛盾している。
- B 第1部分を繰り返している。
- C 第1部分でとり上げた問題を例示している。
- D 第1部分でとり上げた問題の解決策を示している。

問4の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：解説

状況・目的：教育

問4の正答はDであり、結果は下に示した。

ランニングシューズに関する問4の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	6.6	6.5	8.6	77.2	1.1	77.2	80.8	73.5
オーストラリア	5.1	2.4	10.8	81.1	0.6	81.1	85.4	77.4
カナダ	4.3	1.9	11.5	81.6	0.7	81.6	84.9	78.5
フィンランド	4.8	2.3	16.0	74.5	2.3	74.5	79.0	69.8
フランス	2.0	1.8	9.3	83.5	3.5	83.5	85.3	81.8
ドイツ	5.5	3.7	14.7	70.0	6.1	70.0	73.2	67.4
アイルランド	3.8	1.5	13.3	80.1	1.3	80.1	83.1	77.0
イタリア	3.6	1.9	9.7	83.5	1.4	83.5	88.8	78.9
韓国	8.7	4.0	9.1	77.5	0.8	77.5	78.9	76.5
ニュージーランド	6.7	2.0	10.8	79.3	1.2	79.3	82.7	76.6
イギリス	5.0	1.7	13.3	79.0	1.0	79.0	82.2	75.4
アメリカ	4.8	4.9	12.0	77.5	0.7	77.5	80.3	74.6
OECD 平均	4.6	3.1	12.1	77.9	2.3	77.9	81.4	74.6

注) 正答率は、正答Dに解答した生徒の割合である。

贈り物に関する問題

贈り物

もう何日たったのかしら、と彼女は考えてみた。ずっとこうして座って、冷たい茶色の濁流が、崩れてゆく崖（がけ）の上へだんだん上がってくるのを見つめているのだ。ただかすかに思い出せるのは、雨が南から降りだし、それが急に湿地帯全体へ広がり、家の壁に打ちつけていたことだけだった。その後、川自体の水位は初めゆっく5りと上昇し、次に少し落ち着くと、引いていった。しかしその間も水は時々刻々と小川や溝をはい上がり、低地にどっと流れ込んでいた。そして彼女が眠っている夜の間に、水は道路を呑み込み、家を取り囲んでしまったため、彼女は孤立してしまった。ボートは流され、家は一片の漂流物のように崖（がけ）の上にへばりついていて、今や水は土台のタール塗りの厚板にまで達し、水位はなおも上昇していた。

10 湿地帯は見わたすかぎり、対岸の堤防があった場所の木のとっぺんまで大海原（おおうなばら）と化し、川は土砂降りの雨に洗われて、その広がりはどこかに消えてしまった。彼女の家は底部が船型になっていて、このような洪水が来ても浮かぶように建てられていたが、もうとても古かった。底板の一部はとっくに腐っているだろう。家をカシの大木につないでいるロープも、そのうちプツリ切れて、ボートが流されたのと同じに、家もぐるぐる回りながら下流に押し流されることだろう。

今だれかが来てくれるとは思えなかった。大声で叫んでも、その声を聞いてくれる者はいないから、何の役にも立たないだろう。湿地帯のあちらこちらで、他の人びとが必死の闘いをしていることだろうが、それは自分自身の命のためであろう。一軒の家がまるごと、流されていくのが見えたが、あまりに静かなので、彼女は葬儀に参列しているような感じがした。その家を見ればだれの家かわかったので、流されていくのを見るのはつらかったが、その家の持ち主は高台に逃れたに違いない、と思うことにした。その後、雨と夜の闇（やみ）が迫ってくる中で、上流でヒョウのかん高いほえ声が聞こえた。

25 こんどは家が、なにか生きもののように、彼女の周りでガタガタ震えはじめたようだった。ベッドの脇のテーブルにあったランプが傾いて落ちそうになったので、手を伸ばして受け止め、両足で支えた。家はさらにきしみ、うめきながら、ようやくのことで泥の中からもがき出て、水に浮かび、コルクせんのように上下に揺れ、川の力に引っ張られてゆっくり揺れながら流れ出た。彼女はベッドの縁をつかんだ。家は左右に揺れながら、つないだロープの長さ一杯に動いている。がくんと動き古い木材がき30しんで、それから一度静かになった。流れはゆっくりと家を放し、元の方向へ揺り戻して、その場所でギシギシときませた。彼女はやっと一息ついて、ゆっくりした振り子のような揺れを感じながら、長い間座り込んでいた。たえまない雨の中を夜の闇が降りてくると、彼女は頭を腕にのせ、ベッドにつかまったまま眠った。

夜中のいつ頃だったか、彼女はほえ声で目をさました。あまり苦しそうな声だったので、目が覚めていないのに立ち上がったほどだった。闇の中で彼女はベッドにつま35ずいた。ほえ声は川の方から聞こえてくる。それとは別に、何か大きなものが川底をさらうような音を立てて動いているのが聞こえる。別の家が流されているのかもしれないと思った。するとぶつかってきた。わが家にまともに衝突するのではなく、当たるとはねかえり、横にそって滑っている。それは大木だった。その木の枝や葉がもげ40て下流へ流れて行くのが聞こえ、雨と洪水の波音だけが残った。水音が絶え間なく響いているために、音も静けさの一部であるように感じられた。彼女がベッドの上で丸くなって、ほとんど眠りかけていた時、またあのほえ声が聞こえた。今度は非常に近かったので、室内に入ってきたのかもしれないと思った。闇の中へ目をこらし、そつとベッドの上で楽な姿勢に戻ったが、そのとき冷たいライフル銃が手に触った。そこ

45で彼女は枕(まくら)の上で身をかがめ、ひざに銃を抱きかかえた。「だれかいるの?」
と彼女は呼びかけた。

答えるようにほえ声が繰り返されたが、こんどは前よりかん高くない、疲れた響き
で、その後はうつろな沈黙に包まれた。彼女は再びベッドに寄りかかった。何がある
のかはわからないが、ポーチの上を動き回る音が聞こえた。床板がきしみ、それに混
50 じって、ものをひっくり返す音も聞きわけられた。その生き物が壁を破って入り込んで
ようとしているのだろう。壁をひっかく音がする。彼女はやっと、それが何だか
わかった。ネコに似た大きな獣(けもの)で、それはわが家を通り過ぎて行ったあの
根こそぎにされた木に乗っていたのだ。洪水と一緒にやってきた、洪水の贈り物とい
うわけだ。

55 彼女は無意識に手を顔に押し当て、それからこわばったのどをなで下ろした。銃が
ひざの上で揺れた。これまで一度も見たことはなかったが、他の人たちの話を聞いた
り、あの苦しんでいるようなほえ声を遠くで聞いたことはある。あれがヒョウなのだ。
ヒョウはまたも壁を引っかいたり、ドアのそばの窓をガタガタ鳴らしている。でも、
窓を防御できて、ヒョウを壁と水で囲い込んでおきさえすれば、檻(おり)に閉じ込
60 めているのと同じだから、大丈夫だと彼女は思った。外ではヒョウがさびた網戸を爪
(つめ)で引っかいていた音が、しばしとだえていた。ときどき鼻を鳴らし、うなっ
ている。

ようやく雨の間から日の光が差し込んできて、それまで闇の続きのようだった雨空
が明るくなったとき、彼女はまだ姿勢も固く、冷えきったままベッドに座っていた。

65 川でボートをこぐのには慣れている彼女の腕だったが、銃を握ってじっとしていたた
めにうずいていた。ちょっとでも物音をたてればヒョウが勢いづくのではないかと恐
れて、ほとんど動かずにいたからだ。彼女は体を硬(こわ)ばらせたまま、家の動き
に合わせて揺れていた。雨は、絶対にやまないぞ、とでもいうようにまだ降っている。
しかし薄暗い光を通して、流れを打つ雨足や、遠くにかすんでいる水びたしの木のと
70 っぺんの形がようやく見えてきた。ヒョウは、今は動いていない。行ってしまったの
かもしれない。彼女は銃をそばに置き、ベッドを降り、音を立てずに窓のところまで
行ってみた。ところがヒョウはまだそこにおり、ポーチの端にうずくまって、家をつ
ないであるカシの木をじっと見つめ、あたかもその突き出た枝へ跳び移るチャンスを
うかがっているようだった。こんどはヒョウがさほど怖そうにみえなかったので、粗

75 い毛皮がけば立って小枝のようになっているのや、やせこけてあばら骨の出た脇腹
(わきばら)がよく見えた。ヒョウは座りこんで長い尾を前後に振っているだけだ
った。この場所なら撃つのは易しそうだ。彼女が銃を取りに戻りかけたら、ヒョウはく
るりと向きを変えた。何の前ぶれもなく、かがみ込みもせず、筋肉を緊張させること
もなく、ヒョウは窓をめがけて跳びつき、窓ガラスを一枚割ってしまった。彼女は尻
80 もちをついたが、悲鳴を上げそうになるのをこらえて、銃を手に取り、窓越しに撃つ
た。ヒョウの姿は視界から消えたが、弾は外れていた。ヒョウはふたたびゆっくり歩
き始めている。ヒョウが窓の外を通るとき、その頭と、山なりになった背中がちらっ
と見えた。

恐怖で震えながら、彼女はベッドまであとさざりし、横になった。川と雨の音は静
まりつつあるがたえまなく続き、冷気もしみ込んできて、彼女の意志というものを流
し去ってしまった。彼女は窓を見つめ、銃を構えつづけていた。ずいぶん長くたって
彼女はふたたび起き上がり、観察してみた。ヒョウは、前足の上に頭をのせて飼い猫
のように眠っている。雨が降り始めてから初めて、彼女は思い切り泣きたいと思った。
自分のこと、他の人たちのこと、洪水に遭(あ)ったすべてのもののことを思って。

90 彼女はベッドに滑り込み、キルトを肩に引き上げてくるまった。道路がまだ通じてい
るうちに、あるいはボートが流される前に、逃げられる間に逃げればよかったのに。
家の揺れで前後に揺さぶられるにつれて、胃がひどく痛み、何も食べていなかったの
を思い出した。いつから食べてないのかも覚えていない。飢えたヒョウなみに彼女も

空腹だった。ゆっくりと台所に入り、わずかばかり残っていた枝木で火を起こした。

95 洪水がまだ続いたら、いすを燃やし、テーブルも燃やさなければならない。天井に吊ってあるスモークハムの残りを下ろし、茶色がかかった赤肉を厚く切り取り、シチューなべに入れた。肉が油で焼ける香りに、彼女はくらくらとした。最後に料理したときの残りの古いビスケットがあり、コーヒーもできた。水は十分にある。

調理している間、彼女はヒョウのことをほとんど忘れていたが、その時ヒョウがク
100 ーンと鳴いた。ヒョウも飢えてるのね。彼女は「私に食事をさせてちょうだい」とヒョウに呼びかけた。「それから、お前のことを考えるわ。」と彼女はしのび笑いをした。彼女がハムの残りを天井のフックへ戻すとき、ヒョウがゴロゴロと深いしわがれた声でうなったので、彼女の手は震えた。

彼女は食べ終わると、ふたたびベッドへ戻り、銃を取り上げた。家は川から揺れ戻
105 されたときに高く持ち上げられたので、もう崖（がけ）とこすり合うような位置にはなかった。食事をして体も暖まった。雨を通して日の光が差している間なら、ヒョウをやっつけられる。彼女は、忍び足でゆっくりと窓に近づいた。ヒョウはまだそこにおり、鳴き声を出し、ポーチを動き回り始めている。彼女は長い間ヒョウを見つめていた。もう怖くない。それから思わず、彼女は銃をかたわらに置き、ベッドの端を回
110 って、台所に向かった。背後ではヒョウが、いらいらしながら動いている。彼女はハムの残り全部を下ろし、揺れる床を横切って戻り、割れた窓ガラスからハムを外に押しやった。窓の外で飢えたうなり声が上がり、何か衝撃のようなものがこの獣から彼女に伝わってきた。彼女は自分のしたことにぼうぜんとし、ベッドまであとずさりした。ヒョウが肉を食いちぎる音が聞こえる。家がグラグラと揺れた。

115 次に目覚めたとき、彼女はすべてが変わったことにすぐ気づいた。雨はやんでい
た。家が揺れているかと注意してみたが、もう濁流の上で揺れてはいなかった。ドアを開けると、破られた網戸ごしに、これまでと違う世界が見えた。家は以前と変わらず崖（がけ）の上に静止していた。川はまだ、数フィート下を激流となって流れていたが、家からカシの木までの数フィートでは、もう水は引いていた。そしてヒョウは
120 去っていた。足跡はポーチからカシの木まで続いていて、その先は湿地帯の中へと続いているに違いないが、柔らかい泥の中でぼやけて、もう消えかかっていた。ポーチの上には、かじられたハムが白い骨になって残っていただけだった。

話し手 1: ぼくは、物語のなかの女性
性は心が冷たく残酷だと思う。



話し手 2: どうしてそう言えるの？ 私は、彼女はとても思いやりのある人だと思うわ。



前の3ページにわたっている課題文「贈り物」を読んで、問1～7に答えてください（課題文の左端にある行番号は、問題文で質問されている箇所を見つけやすくするために付いています）。

贈り物に関する問1

以下は、「贈り物」を読んだ二人の会話の一部です。

この二人が自分の意見を証明するには、それぞれどう言えばよいでしょうか。この物語からそれぞれの証拠をさがして、次に示してください。

話し手 1:

.....

話し手 2:

.....

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：物語

状況・目的：個人

問1の採点基準は下記のとおり、話し手1と話し手2に分かれており、完全正答（2点）は両方が正答である場合に与えられ、片方のみの場合は部分正答（1点）とした。結果は「問1の結果」に示した。

贈り物に関する問1の話し手1の採点基準	
コード	回答
部分正答（1点）	
1	この女性は心が冷たく残酷だという考えを裏づける証拠を物語から提示している。女性がヒョウを撃とうとしたこと、または実際に撃ったことを説明してもよい。引用または同じ意味に言い換えていてもよい。
誤答／無答（0点）	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。または、課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答え。
9	無答

贈り物に関する問1の話し手2の採点基準	
コード	回答
部分正答（1点）	
1	この女性は思いやりがあるという考えを裏づけるための証拠を物語から提示している。ヒョウに食べ物をやったこと、この女性のヒョウに対する、または一般的な、思いやりの心を示してもよい。引用または同じ意味で言い換えていてもよい。
誤答／無答（0点）	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。または、課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答え。
9	無答

贈り物に関する問1の結果

(単位：%)

国名	反応率				正答率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	53.6	23.4	6.2	16.7	65.3	69.8	60.6
オーストラリア	59.6	20.7	9.6	10.2	69.9	73.6	66.6
カナダ	64.0	18.9	9.3	7.8	73.5	78.5	68.8
フィンランド	70.8	16.3	6.3	6.6	78.9	85.2	72.3
フランス	56.3	17.2	8.2	18.2	64.9	67.8	62.1
ドイツ	52.1	14.9	11.7	21.3	59.5	64.2	55.8
アイルランド	65.4	19.2	9.2	6.2	75.0	76.8	73.7
イタリア	49.9	17.1	11.1	21.9	58.5	65.3	52.2
韓国	65.9	19.5	6.5	8.0	75.7	76.4	75.2
ニュージーランド	64.4	15.3	11.0	9.3	72.1	78.6	66.2
イギリス	58.1	21.9	9.7	10.3	69.0	73.0	65.6
アメリカ	55.3	18.8	20.3	5.5	64.7	69.5	59.7

OECD平均	56.2	18.0	11.5	15.2	64.2	69.4	59.5
--------	------	------	------	------	------	------	------

注) 正答率は、完全正答した生徒の割合に部分正答の生徒の割合を0.5倍して加えたものである。

問1は、文学作品を読んで主人公の取った行動を評価・批判させる問題である。ディベートのように賛否両論を提示し、両論の根拠を論じることが求められている。採点基準では、問題文を正確に理解し、明確な根拠を物語り文中から探し出して提示し、説得力のある答えを書けば正答としている。

OECD平均が64点であるのに対して、日本の平均は65点とほぼ等しい。

贈り物に関する問2

この物語の始まりの部分では、この女性の状況は次のうちどれですか。

- A 何日も食べ物になかった後なので、彼女は弱っていて家を出ることができない。
- B 彼女は、野生の獣(けもの)から身を守っている。
- C 彼女の家は、洪水で水に取り囲まれている。
- D 川があふれて、彼女の家を押し流した。

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス: 解釈

タイプ: 物語

状況・目的: 個人

問2の正答はCであり、結果は下に示した。

贈り物に関する問2の結果

(単位: %)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	1.7	2.8	81.4	12.7	1.3	81.4	84.3	78.4
オーストラリア	3.2	2.1	77.7	15.2	1.6	77.7	79.8	75.9
カナダ	2.8	2.3	78.6	15.2	1.1	78.6	78.8	78.5
フィンランド	3.5	2.0	80.2	12.8	1.5	80.2	84.0	76.1
フランス	4.1	2.6	72.7	14.3	6.3	72.7	76.5	68.8
ドイツ	6.4	2.1	66.7	20.3	4.5	66.7	65.5	67.8
アイルランド	2.2	1.9	80.7	14.4	0.8	80.7	79.1	82.6
イタリア	4.4	4.4	68.5	17.4	5.3	68.5	72.0	65.5
韓国	2.5	2.2	89.0	5.3	1.0	89.0	90.4	87.8
ニュージーランド	3.5	2.0	82.8	10.3	1.4	82.8	84.3	81.6
イギリス	2.8	3.0	74.4	18.1	1.7	74.4	74.8	73.8
アメリカ	3.1	2.6	77.6	14.1	2.6	77.6	78.0	77.2
OECD平均	4.1	2.9	73.5	16.4	3.1	73.5	74.9	72.2

注) 正答率は、正答Cに解答した生徒の割合である。

問2は、文学的な文章を正確に読みとる力が求められている問題である。

OECD加盟国の平均正答率が74%であるのに対して、わが国の平均正答率は81%であり、わが国より高い国は韓国とニュージーランドのみである。

贈り物に関する問3

以下は、物語の中でヒョウについて書いてあるうちの、前半の一部です。

「彼女はほえ声で目をさました。あまり苦しそうな声だったので…」(37～38行目)

「答えるようにほえ声が繰り返されたが、こんどは前よりかん高くない、疲れた響きで…」(50～51行目)

「…あの苦しんでいるようなほえ声を遠くで聞いたことはある。」(60行目)

物語の後半で起こったことを考えると、著者はヒョウを登場させるにあたって、なぜこういう書き方をしたのでしょうか。あなたの考えを述べてください。

.....

.....

.....

.....

問3の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：物語

状況・目的：個人

問3は完全正答を3点とし、部分正答は2点と1点に区分してある。その採点基準は下記のとおりであり、結果は「問3の結果」に示した。

贈り物に関する問3の採点基準	
コード	回答
3	これらの記述は、読み手の哀れみを喚起する意図があることを認識している。筆者の意図、または読み手に与える効果について明記しても暗に示していてもよい。物語の後半に起こった出来事を明記しても暗に示していてもよい。次の点について提示していてもよい。 (1) これらの引用部分は、苦難の中にあるヒョウと女性（または人間全般）を結びつけている または、

	(2) これらの引用部分は、物語の後半で女性がヒョウに思いやりを示すことへの伏線となっている。または、 (3) ヒョウを思いやりの対象として描いている。
部分正答 (2)	
2	引用部分について、哀れみを喚起すること以外に考えられる意図 (あるいは効果) について説明している。課題文の内容に沿って説明している。筆者の意図、または読み手に与える効果について明記しても暗に示していてもよい。物語の後半に起こった出来事を明記しても暗に示していてもよい。次の点について説明していてもよい。 (1) 不安や不可解さを生み出す意図または効果 (「ぎよっとさせる」や「恐ろしい」という表現は、引用部分の理解が不十分と見なす。また「面白い」、「読みやすい」、「明確」は具体的とは見なさない。 または、 (2) ヒョウは、女性の視点から描写されているという考え
部分正答 (1)	
1	引用部分で示された文字通りの内容を説明している。課題文の内容に沿って説明している。筆者の意図、または読み手に与える効果について明記しても暗に示していてもよい。物語の後半に起こった出来事を明記しても暗に示していてもよい。次の点について説明していてもよい。 (1) ヒョウの写実的な描写。または、 (2) 文字通りの設定や状況と引用部分を対応させている。
誤答/無答 (0点)	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。または、課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答え。
9	無答

贈り物に関する問3の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	完全正答	部分正答(2)	部分正答(1)	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	27.5	21.6	8.8	12.5	29.6	42.7	45.6	39.6
オーストラリア	40.5	13.2	6.9	28.1	11.3	50.5	54.0	47.4
カナダ	41.7	14.9	12.1	23.1	8.2	55.2	60.8	49.9
フィンランド	35.2	14.5	13.7	28.3	8.3	49.3	60.6	37.1
フランス	17.3	13.8	16.2	28.6	24.1	32.3	34.8	29.8
ドイツ	24.1	27.5	6.0	15.4	27.0	40.8	45.2	36.8
アイルランド	38.0	14.9	11.3	27.5	8.4	51.5	56.7	45.5
イタリア	21.6	25.4	5.8	21.1	26.1	37.2	43.1	31.7
韓国	15.1	27.7	11.2	30.4	15.7	34.5	36.3	33.2
ニュージーランド	45.5	13.2	8.5	22.6	10.3	56.3	64.0	49.0
イギリス	47.5	14.0	4.9	23.3	10.3	56.9	61.0	53.2
アメリカ	36.6	13.6	13.2	30.2	6.4	50.5	54.3	45.5
OECD 平均	28.3	18.5	11.0	24.2	18.1	43.0	48.3	37.8

注) 正答率は、完全正答の生徒の割合に、部分正答 (2) と部分正答 (1) の生徒の割合を 0.5 倍して加えたものである。

問3は、文学作品を正確に読みとった上で、適切に解釈して表現のニュアンスを読みとることが求められる。

OECD 加盟国の平均正答率が 43 点とわが国の平均正答率は同じである。

贈り物に関する問4

「家はさらにきしみ、うめきながら、ようやくのことで泥の中からもがき出て、水に浮かび、コルクせんのように上下に揺れ、…」(28～29行目)

物語のこの部分で、家に起きたのは、次のうちどのことですか。

- A 家は、ばらばらにくずれ落ちた。
- B 家は、水の上をただよい始めた。
- C 家は、すさまじい音を立ててカシの木の方へ倒壊した。
- D 家は、川底に沈んだ。

問4の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：物語

状況・目的：個人

問4の正答はBであり、結果は下に示した。

贈り物に関する問4の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	2.4	83.9	6.6	5.2	1.9	83.9	85.2	82.6
オーストラリア	2.0	88.2	6.8	1.1	2.0	88.2	91.2	85.4
カナダ	2.4	87.5	7.1	1.5	1.5	87.5	89.7	85.5
フィンランド	0.8	94.1	3.9	0.3	0.9	94.1	95.1	93.0
フランス	1.7	88.0	5.7	0.8	3.7	88.0	87.8	88.4
ドイツ	2.9	83.0	8.0	2.3	3.7	83.0	86.4	79.8
アイルランド	1.3	86.8	9.5	1.4	0.9	86.8	87.5	86.0
イタリア	3.1	85.5	5.9	1.2	4.4	85.5	90.2	81.5
韓国	1.6	82.0	13.2	2.0	1.2	82.0	83.7	80.5
ニュージーランド	2.4	88.9	5.1	1.9	1.7	88.9	91.8	86.4
イギリス	2.1	84.7	10.0	1.1	2.1	84.7	87.1	82.3
アメリカ	4.6	84.9	6.9	1.8	1.9	84.9	86.9	82.8
OECD平均	2.4	85.2	7.9	1.9	2.6	85.2	87.5	83.1

注) 正答率は、正答Bに解答した生徒の割合である。

問4では、物語の文章を正確に読みとり情報を取り出すことが求められている。

OECD加盟国の平均正答率が85%であるのに対し、わが国の平均正答率は84%である。

贈り物に関する問5

この物語では、この女性がヒョウに食べ物を与えた理由を暗示しています。それは何ですか。

.....

.....

.....

.....

問5の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：物語

状況・目的：個人

問5の採点基準は下記のとおりであり、結果は「問5の結果」に示した。

贈り物に関する問5の採点基準	
コード	回答
完全正答 (2点)	
2	ヒョウに対するこの女性の哀れみまたは共感が動機になっていることの暗示を認識している。女性自身が自分の動機を自覚していないことを述べてもよい。
部分正答 (1点)	
1	物語では女性の動機を明確に説明していないこと、および/または女性が動機を自覚していないことを認識している。または、女性の動機は説明せず、ヒョウが食べ物や助けを必要としていた点から答えている。
誤答/無答 (0点)	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。または、課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答え。
9	無答

贈り物に関する問5の結果

(単位：%)

国名	反 応 率				正 答 率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	33.0	9.6	23.5	33.8	42.6	45.5	39.6
オーストラリア	44.4	11.9	33.3	10.4	56.3	60.1	52.7
カナダ	49.5	16.4	26.8	7.3	65.9	69.6	62.6
フィンランド	37.6	13.6	44.1	4.7	51.2	56.5	45.4
フランス	29.8	25.9	30.0	14.2	55.8	58.7	52.9
ドイツ	47.0	10.8	25.3	16.9	57.8	61.2	54.5
アイルランド	45.3	15.5	32.8	6.4	60.8	63.2	58.7
イタリア	40.5	15.5	28.8	15.2	56.0	66.1	47.5
韓国	49.3	27.6	17.1	6.0	76.9	81.1	73.8
ニュージーランド	43.9	13.5	33.4	9.2	57.4	62.1	53.2
イギリス	44.1	11.3	36.0	8.6	55.4	58.7	52.2
アメリカ	42.7	15.1	34.9	7.2	57.8	59.6	56.0
OECD平均	41.6	15.0	30.8	12.5	56.6	60.7	52.9

注) 正答率は、完全正答と部分正答の生徒の割合を加えたものである。

この問題は、物語の登場人物が取った行動の理由を、課題分を正確に理解した上で推論して、明確に説得力を持って説明することを求める。課題文の理解が不十分だったり漠然とした答えだったりした場合は無得点となる。

OECD平均が57点であるのに対し、わが国の平均は43点と14点低い。

贈り物に関する問6

この女性が「それから、お前のことを考えるわ。」(105行目)と言ったとき、彼女はどのように考えていたのですか。一つ選んでください。

- A このヒョウは彼女を傷つけないだろうと確信している。
- B このヒョウをこわがらせようとしている。
- C このヒョウを撃ち殺すつもりである。
- D このヒョウに食べ物を与えようとしている。

問6の出題の意図は以下のとおりである。

- プロセス：解釈
- タイプ：物語
- 状況・目的：個人

問6の正答はCであり、結果は下に示した。

贈り物に関する問6の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	14.7	4.1	50.5	29.6	1.2	50.5	55.3	45.5
オーストラリア	3.3	4.0	44.5	46.1	2.1	44.5	48.0	41.2
カナダ	4.6	3.1	46.1	44.9	1.2	46.1	50.3	42.2
フィンランド	5.3	2.9	52.0	38.9	0.9	52.0	60.6	42.7
フランス	2.8	3.3	50.6	38.7	4.7	50.6	55.0	46.2
ドイツ	8.6	1.7	41.5	44.3	3.9	41.5	45.9	37.6
アイルランド	2.8	1.6	48.7	45.6	1.3	48.7	51.7	45.6
イタリア	9.1	3.0	41.5	40.5	5.9	41.5	41.2	42.1
韓国	20.5	2.7	28.4	46.8	1.6	28.4	28.5	28.2
ニュージーランド	4.9	4.4	49.9	39.5	1.3	49.9	54.0	45.9
イギリス	3.9	3.9	44.0	46.5	1.7	44.0	45.5	42.5
アメリカ	5.2	4.4	35.5	53.2	1.6	35.5	37.0	34.0
OECD 平均	7.6	3.8	40.9	44.7	3.0	40.9	43.5	38.4

注) 正答率は、正答Cに解答した生徒の割合である。

問6は物語を解釈して推論する問題である。

OECD 加盟国の平均正答率が41%であるのに対し、わが国の平均正答率は51%である。わが国の平均正答率はより高い国はフィンランドのみである。

贈り物に関する問7

「贈り物」の最後の文が、このような文で終わるのは適切だと思いますか。
最後の文が物語の内容とどのように関連しているかを示して、あなたの答えを説明してください。

.....

.....

.....

.....

問7の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：物語

状況・目的：個人

問7は完全正答を3点とし、部分正答は2点と1点に区分してある。その採点基準は下記のとおりであり、結果は「問7の結果」に示した。

贈り物に関する問7の採点基準	
コード	回答
完全正答 (3点)	
3	物語を文字通りに正確に理解し、その奥に示された意味を解釈している。物語の主な関係、論点または比喩を最後の文に関連づけ、主題の完結性の点から結末を評価している。ヒョウと女性の関係、生き延びること、贈り物または感謝などについて答えてもよい。適切かどうかの意見は、明記しても暗に示していてもよい。
部分正答 (2点)	
2	物語を文字通りに正確に理解し、その奥に示された意味を解釈している。物語後半の全般的な文体や雰囲気最後の文に関連づけ、文体または雰囲気の点から結末を評価している。適切かどうかの意見は、明記しても暗に示していてもよい。
部分正答 (1点)	
1	物語を文字通りに正確に理解し、文字通りのレベルの答えを示している。実際にあった出来事を最後の文に関連づけ、物語の順序の点から結末を評価している (たとえば、ヒョウがハムを食べたこと、ヒョウが家に来たこと、洪水がひいたことなど)。適切かどうかの意見は、明記しても暗に示していてもよい。
誤答/無答 (0点)	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答え。または、課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答え。
9	無答

贈り物に関する問7の結果

(単位：%)

国名	反応率					正答率		
	完全正答	部分正答(2点)	部分正答(1点)	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	12.0	13.4	17.6	16.3	40.7	34.2	38.3	29.8
オーストラリア	30.9	3.2	25.2	26.1	14.6	46.7	52.7	41.3
カナダ	35.2	3.9	23.2	26.1	11.6	50.7	56.6	45.1
フィンランド	25.0	1.7	35.3	27.7	10.3	44.3	52.8	35.2
フランス	13.1	4.4	16.9	33.1	32.5	25.9	28.0	23.8
ドイツ	23.1	2.2	16.6	30.4	27.7	33.6	37.6	29.9
アイルランド	28.1	0.9	27.9	31.3	11.8	43.0	43.9	42.2
イタリア	16.8	2.4	17.4	28.5	34.9	27.9	32.8	23.8
韓国	8.0	15.7	28.2	30.4	17.7	37.8	41.1	35.4
ニュージーランド	31.1	3.4	25.7	25.7	14.1	47.4	56.9	37.9
イギリス	31.7	4.2	24.6	21.5	18.1	48.1	52.2	44.3
アメリカ	27.0	4.2	28.3	32.5	8.0	45.3	48.5	42.1
OECD平均	20.5	4.5	24.3	30.0	20.8	37.1	41.9	32.5

注) 正答率は、完全正答と部分正答(2点)の生徒の割合に、部分正答(1点)の生徒の割合を0.5倍して加えたものである。

問7は、物語を正確に理解し、主題の完結性の点から結末を評価し批判する批判力を求める問題である。

OECD加盟国の平均正答率が37%と難問であるが、わが国の平均正答率は34%と若干平均正答率より低い。

アマンダと公爵夫人に関する問題

次には、課題文が二つあげられています。課題文1は劇作家ジャン・アヌイの作品「レオカディア」からの抜粋で、課題文2は舞台関係者の役割説明です。これらの課題文を読んで、問1～5に答えてください。

課題文1

アマンダと公爵（こうしゃく）夫人

あらすじ：レオカディアの死後、彼女に恋していた王子は悲しみに暮れています。王子の叔母である公爵夫人は、レセダ・スールという店で、アマンダという名の若い店員に出会いました。アマンダは驚くほどレオカディアに似ていました。公爵夫人は、アマンダに、王子の心に付きまとっている思い出から彼を解放するため、協力してもらおうとします。

城の庭園にある十字路、小さな石柱を囲む円形状のベンチ...夕闇（ゆうやみ）が迫っている。...

アマンダ

私には分かりませんわ。王子さまのために私に何ができると言うのでしょうか、奥さま。私にはお考えがまったく分かりませんわ...どうして私が？ 特別美しいわけでもありませんのに。それにたとえだれかとても美しい人であっても、王子さまとそのような思い出との間に突然割ってはいることなどできるのでしょうか？

公爵夫人

あなた以外にいないのよ。

アマンダ、心から驚いた様子で私が？

公爵夫人

ねえ、あなた、世の中ってとてもぼかげているのよ。みんなパレードや身のこなし、階級章しか目に入らないのよ...あなたはそうじゃないかもしれないけど。でもこれから言うことは本当よ。レセダの店で初めてあなたを見かけたときは、思わず叫び出しそうになったわ。社交界でのレオカディアではなくて、本当の彼女をよく知っている

者が見れば、あなたはまさしくレオカディアの生き写しなの。

沈黙。このとき昼の鳥から夜の鳥へと歌声が移り変わる。庭園は夕闇とさえざりにつつまれている。

アマンダ、とても静かな調子で

でも奥さま、私には無理ですわ。何のとりえもないし、どこにでもいるような女ですもの。私に比べたら、王子さまとその女性のことなど...私には夢としか...だってそうじゃありません？

アマンダが立ち上がる。もうそこから立ち去ろうとして、小さなスーツケースを手に取る。

公爵夫人、こちらも静かな調子で、そして疲れきった様子で

そうね。ごめんなさいね。

今度は夫人の方が、老女のようにやっこのことで立ち上がる。自転車のベルの音が夜風の中に聞こえる。夫人は突然あわてる。

ほら、王子が来たわ。王子がレオカディアと初めて出会った、この小さな石柱にもたれ掛かっている姿を見せるだけでいいの。たとえこの一度きりでも、王子があなたを

見て、驚きの声を上げて、こんなによく似た状況に、思わず興味を抱いてくれれば。明日には王子に本当のところを告白するつもりだけど、そうすれば王子は、きっと私を憎むでしょう。でも、亡くなったレオカディアは、いずれ私のもとから王子を連れ去ってしまうでしょう。私にはわかるわ。

(夫人はアマンドの腕をつかむ) やってくれるわよね? 恥を忍んであなたにお願いしてるの、アマンド。(夫人は懇願するようにアマンドを見つめ、早口で続ける。) そうすれば、あなたも王子に会えるのよ。それに...こんなことあなたに言うのはやっぱり恥ずかしいけど、人生ってたまらなくばかげたものなの。私の60年の人生でこれほどばかげたことをするのは3回目よ。2回目はほんの10分前のことよ。あなたと王子が会って、もし王子が(もちろん王子は大丈夫よ、ハンサムで魅力的で、これが初めての経験ではないのだから)、もし王子が少しの間だけでも、あなたと夢を見ることができたら、王子も私も幸運と言えるわ...

闇(やみ)の中で再びベルの音がするが、今度はとても近くなっている。

アマンド、ささやき声で

王子様に何と言ったらいいのでしょうか?

公爵夫人、アマンドの腕をしっかりとつかんで

こう言うだけでいいの、「すみませんが、海へ出る道を教えて頂けますか?」

夫人は急いで前よりさらに暗くなった木陰に隠れる。ちょうどその時、ぼんやりとした影が浮かび上がる。その姿は自転車に乗った王子。王子は、石柱のそばにいるアマンドのぼんやりとした影のすぐ脇(わき)を通りすぎる。アマンドが小声で話しかける。

アマンド

課題文2

舞台関係者の役割説明

俳優：舞台上で役を演じます。

すみません...

王子は止まって自転車から降り、帽子を脱いでアマンドを見る。

王子

何でしょうか?

アマンド

海へ出る道を教えて頂けますか?

王子

二つ目の曲がり角を左です。

王子は悲しげに、そして丁寧におじぎをして、再び自転車にまたがり走り去る。ベルの音が再び遠くで聞こえる。公爵夫人はすっかり老け込んだように、闇からはい出てくる。

アマンド、少しして、静かに

王子様は私のことがお分かりにならなかったのですわ...

公爵夫人

暗かったのね...それに、王子が今夢の中で、どんな顔をしてレオカディアを見てるかなんて、だれにもわからないわ。(夫人はおずおずと聞く) あなた、最終列車はもう行ってしまったわ。とにかく、今晚は城に泊まったらどう?

アマンド、げげんそうな声で

わかりました、奥さま。

あたりは真暗闇(まっくらやみ)。闇の中では二人の女性の姿を見ることはもはやできず、風の音だけが庭園の深い木々の中に聞こえる。

幕が下りる。

演出家：上演を全面的に指揮・監督します。俳優を配置したり、舞台への入退場を調整したり、演技を指導したりするだけでなく、台本の解釈についても指示を出します。

衣装係：原案デザインをもとに衣装を製作します。

舞台美術：舞台装置および衣装の原案モデルをデザインします。原案モデルは、その後作業場で実物大に作り上げられます。

小道具：必要となる小道具の準備を担当します。ここで「小道具」という言葉は、たとえば肘（ひじ）掛けいす、手紙、ランプ、花束等の移動可能なあらゆる物品を意味しています。舞台装置と衣装は、小道具ではありません。

音響技師：上演に必要な音響効果をすべて担当します。上演中は調整室にいます。

照明助手／照明技師：照明を担当します。この人も上演中は調整室にいます。照明は非常に複雑な作業なので、設備の整った劇場では照明技術者が10人もいることさえあります。

アマンダと公爵夫人に関する問1

この脚本の抜粋はどのような場面ですか。

公爵夫人の考えている計画を、次のうちから一つ選んでください。

- A 王子に、もっと頻繁（ひんばん）に夫人に会いに来させる。
- B 王子に結婚を決意させる。
- C 王子が悲しみを忘れられるよう、アマンダに助けてもらう。
- D アマンダに、夫人と一緒に城で暮らしてもらう。

問1の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：物語

状況・目的：個人

問1の正答はCであり、結果は下に示した。

アマンダと公爵夫人に関する問1の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	3.5	5.0	82.8	6.6	2.0	82.8	89.9	75.4
オーストラリア	7.2	10.3	71.0	8.8	2.7	71.0	81.9	61.8
カナダ	6.9	8.3	72.1	10.5	2.2	72.1	79.6	64.6
フィンランド	3.5	10.0	76.3	6.9	3.3	76.3	88.4	64.3
フランス	5.0	5.1	79.0	5.7	5.1	79.0	84.0	74.3
ドイツ	5.0	8.0	70.2	6.9	9.9	70.2	79.2	60.7
アイルランド	5.5	5.1	81.7	5.8	1.9	81.7	88.4	75.7
イタリア	4.1	6.9	76.6	4.5	7.9	76.6	88.2	65.4
韓国	5.6	3.6	84.1	4.4	2.3	84.1	86.5	82.2
ニュージーランド	7.4	9.1	72.9	7.4	3.1	72.9	81.9	64.7
イギリス	8.3	8.4	70.9	9.6	2.8	70.9	79.0	62.0
アメリカ	8.7	12.5	65.8	9.7	3.2	65.8	75.6	56.5
OECD平均	5.5	8.0	73.7	7.6	5.3	73.7	82.1	65.5

注) 正答率は、正答Cに解答した生徒の割合である。

アマンダと公爵夫人に関する問2

この台本の中には、俳優のセリフのほかに、俳優や舞台技術者への指示（ト書き）が書いてあります。

台本の中のト書きは、どのように見分けることができますか。

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：熟考と評価

タイプ：物語

状況・目的：個人

問2の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問2の結果」に示した。

アマンダと公爵夫人に関する問2の採点基準	
コード	解答
正答	
1	斜体のゴシック字にふれている。専門的説明でなくてもよい。斜体のゴシック字のほかに括弧についてふれてもよい。
誤答/無答	
0	不十分な答えもしくは漠然とした答えをあげている。 または：課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答えをあげている。
9	無答

アマンダと公爵夫人に関する問2の結果

(単位：%)

国名	反応率			正答率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	62.5	15.5	22.1	62.5	67.4	57.3
オーストラリア	49.2	34.5	16.3	49.2	57.1	42.7
カナダ	51.5	32.6	16.0	51.5	57.0	46.2
フィンランド	36.1	48.6	15.3	36.1	44.8	27.4
フランス	59.9	22.0	18.1	59.9	66.1	53.9
ドイツ	49.0	26.0	24.9	49.0	55.3	42.4
アイルランド	38.5	42.0	19.5	38.5	45.9	31.2
イタリア	33.7	38.3	28.1	33.7	39.2	27.9
韓国	-	-	-	-	-	-
ニュージーランド	55.3	29.2	15.5	55.3	65.1	46.7
イギリス	50.4	33.1	16.5	50.4	54.5	46.2
アメリカ	48.5	34.7	16.7	48.5	59.4	37.9
OECD 平均	44.5	32.6	22.9	44.5	51.2	38.1

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

アマンダと公爵夫人に関する問3

次の表は、「レオカディア」のこの場面の上演にかかわる舞台技術者の一覧表です。課題文1の舞台で、それぞれの技術者が実行しなければならない指示を一つずつ書き出して、この表を完成させてください。

一つ目に例を示します。

舞台技術者の種別	ト書き
舞台美術	小さな石柱を囲む円形状のベンチ
小道具	
音響技師	
照明技師	

問3の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：表

状況・目的：個人

問3の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問3の結果」に示した。

アマンダと公爵夫人に関する問3 (小道具)の採点基準	
コード	解答
正答	
1	スーツケースまたは自転車を記している。ト書きから引用してもよい。
誤答/無答	
0	その他の答え
9	無答

アマンダと公爵夫人に関する問3 (音響技師)の採点基準	
コード	解答
正答	
1	鳥の歌声、(夜の)鳥、さえずり、自転車のベルの音、風の音、沈黙のいずれかを記している。ト書きから引用してもよい。
誤答/無答	
0	その他の答え
9	無答

アマダと公爵夫人に関する問3(照明器具)の採点基準	
コード	解答
正答	
1	闇(やみ)、ぼんやりとした影、真暗闇(まっくらやみ)、夕闇(ゆうやみ)のいずれかを記している。
誤答/無答	
0	その他の答え
9	無答

アマダと公爵夫人に関する問3の結果

(単位: %)

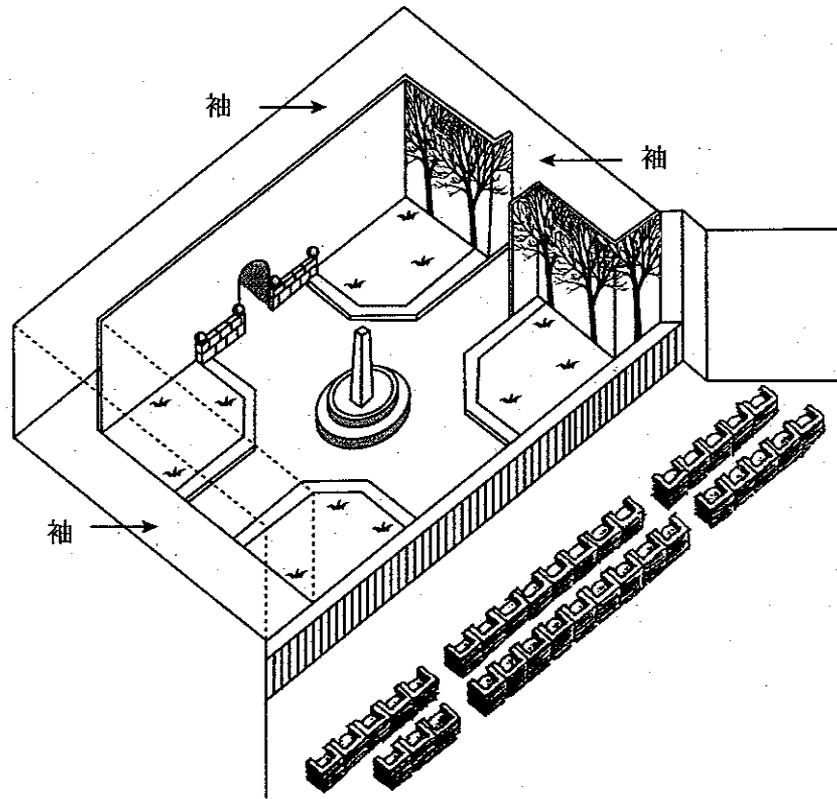
国名	反 応 率			正 答 率		
	3つとも正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	63.9	18.8	17.3	63.9	72.4	54.8
オーストラリア	50.0	32.6	17.4	50.0	57.3	44.1
カナダ	55.9	32.4	11.7	55.9	64.8	47.4
フィンランド	54.3	33.5	12.2	54.3	67.0	41.5
フランス	59.2	23.6	17.1	59.2	65.4	53.1
ドイツ	36.8	35.4	27.8	36.8	43.2	30.3
アイルランド	52.3	36.6	11.1	52.3	63.3	41.6
イタリア	38.5	34.3	27.2	38.5	49.0	27.9
韓国	68.2	26.4	5.4	68.2	71.8	65.2
ニュージーランド	53.7	32.5	13.8	53.7	64.2	44.4
イギリス	54.7	29.8	15.5	54.7	63.6	45.0
アメリカ	43.9	42.5	13.6	43.9	49.1	38.9
OECD 平均	44.3	35.8	19.8	44.3	52.0	37.1

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

アマダと公爵夫人に関する問4

舞台上に俳優を配置するのは、演出家です。演出家は図の中で、アマダを文字 A、公爵夫人を文字 D と表しています。

以下の舞台図に A および D を記入して、王子が到着したときアマダと公爵夫人がそれぞれどこに立っているのか、およその位置を示してください。



問4の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

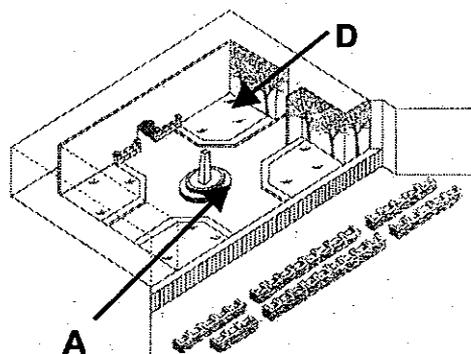
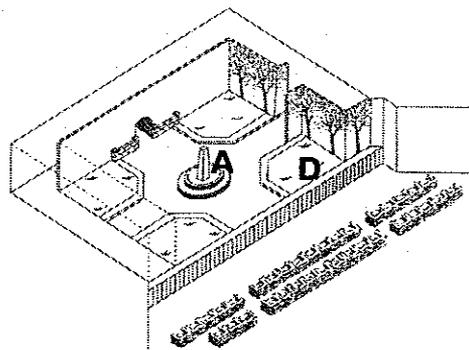
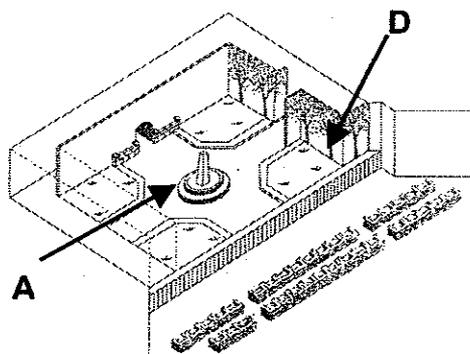
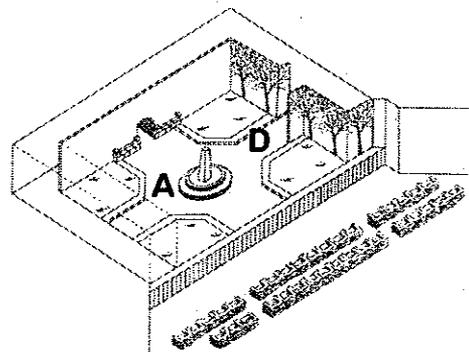
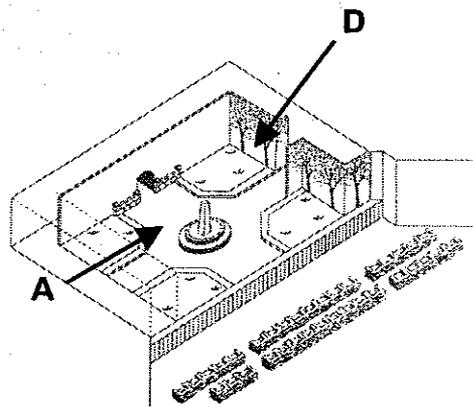
タイプ：物語

状況・目的：個人

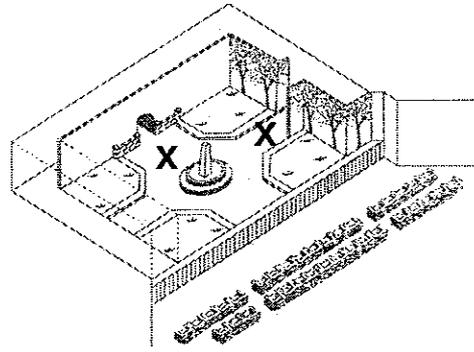
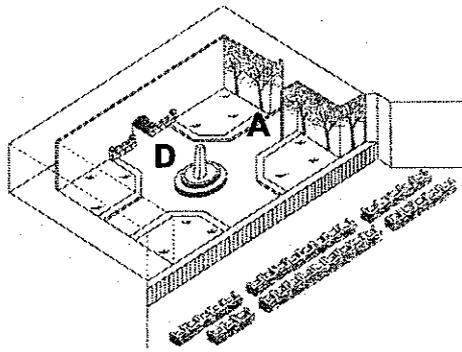
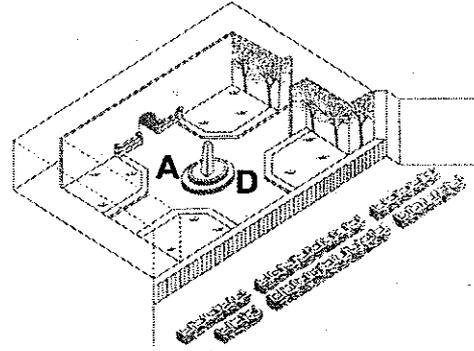
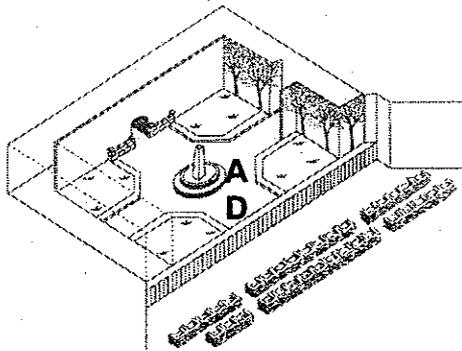
問4の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問4の結果」に示した。

アマダと公爵夫人に関する問4の採点基準	
コード	解答
正答	
1	石柱のそばに A を記入し、かつ木々の裏または近くに D と記入している。(正答の例を参照)
誤答/無答	
0	その他の答え (誤答の例を参照)
9	無答

正答の例



解答の例



アマダと公爵夫人に関する問4の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	57.5	22.7	19.8	57.5	65.2	49.5
オーストラリア	37.5	41.9	20.6	37.5	44.8	31.6
カナダ	36.6	47.0	16.4	36.6	42.0	31.2
フィンランド	59.2	29.1	11.7	59.2	70.3	48.1
フランス	42.2	41.3	16.5	42.2	47.4	37.2
ドイツ	32.0	42.8	25.2	32.0	35.6	28.1
アイルランド	40.8	46.0	13.3	40.8	45.9	35.9
イタリア	44.8	29.0	26.2	44.8	54.0	35.6
韓国	42.8	42.2	15.0	42.8	48.4	38.3
ニュージーランド	39.6	41.5	18.9	39.6	46.6	33.6
イギリス	39.7	39.5	20.8	39.7	44.6	35.1
アメリカ	27.6	45.3	27.2	27.6	29.2	26.0
OECD平均	36.7	41.3	22.0	36.7	42.1	31.5

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

アマンダと公爵夫人に関する問5

台本の抜粋の最後の方で、アマンダは「王子様は私のことがお分かりにならなかったのですわ…」とっています。

これはどういうことを意味していますか。次のうちから一つ選んでください。

- A 王子がアマンダを見なかったこと
- B 王子が、アマンダが店員であることに気付かなかったこと
- C 王子が、以前アマンダに会ったことがあると気付かなかったこと
- D 王子が、アマンダがレオカディアに似ていることに気付かなかったこと

問5の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：物語

状況・目的：個人

問5の正答はDであり、結果は下に示した。

アマンダと公爵夫人に関する問5の結果

(単位：%)

国名	反 応 率					正 答 率		
	A	B	C	D	無答	全体	女子	男子
日本	5.7	5.5	9.7	75.6	3.6	75.6	83.5	67.3
オーストラリア	3.4	5.9	17.3	70.1	3.2	70.1	82.7	59.6
カナダ	3.9	4.4	17.7	71.3	2.6	71.3	80.1	62.6
フィンランド	2.9	5.0	14.9	74.0	3.1	74.0	85.1	62.9
フランス	4.1	3.4	12.8	74.1	5.7	74.1	84.1	64.0
ドイツ	4.1	3.3	18.9	63.8	9.9	63.8	74.9	52.0
アイルランド	4.3	4.4	12.6	75.5	3.1	75.5	82.8	68.8
イタリア	3.1	5.2	17.9	65.8	8.0	65.8	75.8	56.5
韓国	2.3	3.6	8.6	83.2	2.4	83.2	88.0	79.4
ニュージーランド	6.1	6.2	19.7	65.6	2.3	65.6	77.8	54.6
イギリス	4.5	4.1	20.8	67.4	3.3	67.4	77.3	57.2
アメリカ	7.5	6.8	22.3	61.1	2.4	61.1	70.5	51.9
OECD平均	5.1	5.5	16.7	67.3	5.4	67.3	77.0	58.1

注) 正答率は、正答Dに解答した生徒の割合である。

松本工業

松本工業株式会社
人事部

CIEM (社内外異動センター)

CIEM とは何でしょうか？

CIEM とは、人事部の発案による「社内外異動センター」の略称です。CIEM では人事部の多数の職員のほか、他の部門の職員や、社外の職業コンサルタントが協力して仕事をしています。

CIEM の役割は、松本工業株式会社の従業員が、社の内外で別の仕事を探すのを手助けするためにあります。

CIEM は何をするのでしょうか？

CIEM は、次にあげる活動を通じて、他の仕事につくことを真剣に考えている従業員を支援します。

・ 職業データバンク

職員と面接を行ってから、データバンクに情報を入力します。松本工業および他の製造業で仕事を探している人と、空席になっている仕事を照会するためです。

・ ガイダンス

職業カウンセリングでの話し合いを通じて、従業員のもっている可能性を探ります。

・ 各種講座

求職と職業計画についての講座を開いています（情報・研修部門の協力を得ています）。

・ 転職の企画

CIEM は、従業員が新たな職業と新たな人生設計に備えるための計画を支援し、調整を行っています。

・ 仲裁

CIEM は、リストラによる解雇のおそれのある従業員のため、仲裁の役割を果

たしています。また、必要な場合には、新たな職を見つけることも援助します。

CIEM には、どのくらいの費用がかかりますか？

支払額は、あなたの所属する部門との相談で決定します。CIEM のサービスの多くは無料ですが、有料の場合はその金額が請求されるか、労働時間を延長するよう求められます。

CIEM の仕組みはどのようになっているのですか？

CIEM は、社内・外で別の職につこうと真剣に考えている従業員を支援します。

手続きは、申込書を提出することから始まります。人事カウンセラーと話し合いをするのもよいでしょう。当然のことながら、まず自分の希望と社内での仕事の可能性についてカウンセラーと話し合いをすることになります。カウンセラーは皆さんの能力と、各部課内での動向について事情をよく心得ています。

いずれの場合も、CIEM とは、人事カウンセラーを通じて連絡をとります。カウンセラーが申込者に代わって申し込みの手続きを取り、その後本人に、CIEM の代表との話し合いの通知をお送りします。

くわしい情報については

くわしい情報については、人事部におたずねください。

前ページにある人事部のお知らせを読んで、問1～2に答えてください。

人事部に関する問1

お知らせによれば、CIEM についてのもっと詳しい情報は、どこで得ることができるでしょうか。

.....

問1の出題の意図は以下の通りである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：叙述

状況・目的：職業

問1の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問1の結果」に示した。

人事部に関する問1の採点基準	
コード	解答
正答	
1	次の項目のうち少なくとも一つをあげる。 (1) 人事部から (2) 人事カウンセラーから
誤答/無答	
0	その他の答え
9	無答

人事部に関する問1の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	89.4	6.8	3.8	89.4	91.6	87.2
オーストラリア	95.3	3.3	1.4	95.3	95.9	94.8
カナダ	92.2	6.3	1.5	92.2	94.6	90.0
フィンランド	94.3	3.7	2.0	94.3	96.0	92.5
フランス	80.6	14.0	5.4	80.6	83.5	77.3
ドイツ	73.4	15.6	10.9	73.4	76.7	71.0
アイルランド	91.9	6.9	1.2	91.9	92.8	91.3
イタリア	84.8	8.5	6.7	84.8	87.9	81.4
韓国	94.6	4.6	0.8	94.6	94.8	94.5
ニュージーランド	93.8	4.8	1.4	93.8	96.0	91.8
イギリス	93.0	5.3	1.7	93.0	94.6	91.7
アメリカ	92.3	6.2	1.5	92.3	94.4	90.0
OECD 平均	85.5	10.2	4.3	85.5	88.2	82.9

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

人事部に関する問2

リストラが原因で職を失いそうな人々を、CIEM が支援できる方法を二つあげてください。

.....

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：情報の取り出し

タイプ：叙述

状況・目的：職業

問2の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問2の結果」に示した。

人事部に関する問2の採点基準	
コード	解答
正答	
1	下記の2点をともに述べている。 (1) 彼らは、従業員の仲裁役の役割を果たす。または、仲裁。 (2) 彼らは、新たな職を見つけるのを支援する。[「職業データバンク」「ガイダンス」「各種講座」または「転職の企画」の回答は不可。]
誤答/無答	
0	その他の答え
9	無答

人事部に関する問2の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	66.7	26.7	6.6	66.7	72.2	61.0
オーストラリア	30.3	60.5	9.2	30.3	32.3	28.5
カナダ	25.8	66.6	7.5	25.8	30.2	21.4
フィンランド	48.6	43.7	7.7	48.6	57.5	39.2
フランス	23.0	59.1	17.9	23.0	26.2	19.7
ドイツ	23.7	59.8	16.5	23.7	25.8	21.9
アイルランド	35.0	58.5	6.5	35.0	39.3	31.1
イタリア	38.5	45.4	16.1	38.5	42.4	34.8
韓国	57.4	40.7	1.9	57.4	61.0	54.6
ニュージーランド	31.0	60.8	8.2	31.0	33.4	28.7
イギリス	26.7	63.1	10.2	26.7	30.3	23.8
アメリカ	25.9	66.4	7.7	25.9	27.9	23.7
OECD平均	31.3	56.3	12.4	31.3	34.9	27.8

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

社説

技術進歩で求められる 新しいルール

科学の進歩はふつう、法や倫理より先を行く。これが劇的に生命を破壊する方向で示されたのが、1945年の原爆投下だったが、こんどは生命を創り出す方向で、人の不妊（ふにん）を克服する技術が出現しようとしている。

最初の試験管ベビー、ルイズちゃんが生まれた時は、ほとんどの人がイギリスのブラウン一家を祝福した。そのほかにも世界最初の例が登場するたびに、人々は驚異の眼を見張ったものだ。一番最近の例は、冷凍受精卵が適切な時期を待って、未来の母親の胎内に人工的に着床され、元気な赤ちゃんの姿で生まれたことだ。

法的、倫理的疑問の嵐が吹き始めたのは、オーストラリアにおける次のような冷凍受精卵2体をめぐってだった。その受精卵はマリオ・リオスさんの妻、エルザ・リオスさんの胎内に入るはずだった。エルザさんは前にも受精卵の着床を試みたことがあったが、その時は不成功に終わり、リオス夫妻はもう一度、親になるチャンスをねらっていたのだ。ところがその2度目のチャンスが来る前に、夫妻は飛行機事故で亡くなってしまった。

この冷凍受精卵を預っていた病院は、どうしたらよいのか。だれか他の人に着床させてよいのか。その希望者は大勢いた。受精卵はリオス夫妻の実質的な財産として認められるのか。それとも受精卵は破棄されてしまうべきなのか。無理もないことだが、リオス夫妻は受精卵の将来について何も決めていなかった。

オーストラリアではこの問題を検討する審議会が設置された。先週、審議会は結論を報告し、受精卵は「解凍」されるべきであると述べた。その理由は、受精卵をだ

れか他の者にゆずるには「生産者」の同意が必要だが、その同意はなかった、というものだった。審議会はさらに、受精卵は現状では生命も権利もない状態であり、したがって破棄されることになってしまってもさしつかえないとの見解を示した。

とはいえ審議会のメンバーは、これが法的にも倫理的にも微妙な問題であることを意識していた。そこで、その勧告に対する国民の意見を聞くために3か月間待つように求めた。もし受精卵の破棄に対する反対論が圧倒的であれば、審議会は勧告を再考するとしたのだ。

現在、シドニーのクイーン・ビクトリア病院では、試験管ベビーの受胎を申し込む夫婦は、何か起きた場合は受精卵をどうすべきかをあらかじめ指定しておくよう求められている。

これでリオス夫妻のようなケースは二度と起こらないようになる。しかし他にも複雑な問題はいろいろある。フランスでは最近ある女性が、亡夫の冷凍精子を使って出産しようとしたが、それには裁判所の許可が必要だった。このような訴えをどう処理すべきか。また、他人の代りに子どもを産むと約束した代理母が、出産契約を破って、その子を手放さなくなったら、どうすればよいのか。

原子力の破壊的な力を抑えるためには、強制力のあるルールが必要だ。しかし現代社会はいまだにそれを定めることができず、悪夢に悩まされつづけている。出産についても、早めたり、遅くしたりできる科学者の技術が誤用される可能性は多々考えられる。人類があまり遠くまで道を踏み外さないうちに、倫理的、法的な限界を定めておく必要がある。

前ページの新聞の社説、「技術進歩で求められる新しいルール」を読んで、問 1~2 に答えてください。

新しいルールに関する問 1

飛行機事故で亡くなった夫婦の冷凍受精卵をどのように扱うか決めるために、オーストラリアでは何をしましたか。説明している文章に、下線を引いてください。

問 1 の出題の意図は以下のとおりである。

プロセス：解釈

タイプ：解説

状況・目的：公共

問 1 の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問 1 の結果」に示した。

新しいルールに関する問 1 の採点基準	
コード	解答
正答	
1	次の項目のうち少なくとも一つを記した文または文の一部に、下線を引くか丸で囲む。 (1) 「審議会が設置され」 (2) 「その勧告に対する国民の意見を聞くために 3 か月間待つように...」
誤答/無答	
0	その他の答え
9	無答

新しいルールに関する問 1 の結果

(単位：%)

国名	反 応 率			正 答 率		
	正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	63.1	28.7	8.2	63.1	65.8	60.2
オーストラリア	52.7	38.8	8.4	52.7	58.2	48.0
カナダ	54.6	36.6	8.8	54.6	58.6	51.0
フィンランド	56.3	36.7	7.0	56.3	65.3	46.8
フランス	49.5	41.4	9.1	49.5	53.5	45.3
ドイツ	46.5	38.1	15.4	46.5	51.1	41.4
アイルランド	58.2	36.7	5.1	58.2	62.5	54.4
イタリア	29.7	59.5	10.8	29.7	36.0	24.4
韓国	58.0	37.2	4.9	58.0	60.5	55.9
ニュージーランド	57.9	35.0	7.1	57.9	64.4	51.7
イギリス	54.3	38.0	7.7	54.3	60.1	47.9
アメリカ	40.9	49.8	9.4	40.9	47.3	34.1
OECD 平均	48.0	39.5	12.5	48.0	52.7	43.4

注) 正答率は、正答した生徒の割合である。

新しいルールに関する問2

この冷凍受精卵の着床の例にあるように、新しい技術によって、どのようにして新しいルールが必要となったかを説明している実例を、この社説の中から二つあげてください。

.....

.....

問2の出題の意図は以下のとおりである。

- プロセス：解釈
- タイプ：解説
- 状況・目的：公共

問2の採点基準は以下のとおりであり、結果は「問2の結果」に示した。

新しいルールに関する問2の採点基準	
コード	解答
完全正答	
2	次の項目のうち、少なくとも二つをあげる。 (1)リオス夫妻が亡くなったとき、受精卵をどう扱うべきか議論が持ち上がった。 [第4パラグラフの論点(例:「受精卵を預った病院は、どうしたらよいか」、「受精卵には相続権があるか」)は不可。ただし、解答が、これを受精卵の提供者(リオス夫妻)の死亡と明白に結び付けている場合は可。] (2)フランス人女性が亡き夫の精子を使うのに、裁判所の許可を求めねばならなかった。 (3)代理母が、出産した子を手放さない場合、ルールはどうあるべきか。
部分正答	
1	上記の生命工学に関する例((1)、(2)または(3))を一つ述べ、かつ、原子力(の潜在的な破壊力)について述べている。
誤答/無答	
0	その他の答え
9	無答

新しいルールに関する問2の結果

(単位:%)

国名	反 応 率				正 答 率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答	全体	女子	男子
日本	4.6	19.8	27.9	47.7	24.4	28.4	20.2
オーストラリア	3.9	23.1	44.9	28.1	27.0	34.4	20.4
カナダ	5.6	24.7	45.5	24.2	30.3	36.0	24.9
フィンランド	3.9	24.4	43.6	28.0	28.3	35.5	20.8
フランス	20.2	15.4	24.8	39.6	35.6	41.6	29.4
ドイツ	7.1	14.8	33.1	44.9	21.9	24.7	19.2
アイルランド	5.8	26.9	40.4	26.9	32.7	38.5	27.3
イタリア	7.0	25.3	24.6	43.1	32.3	40.8	24.7
韓国	9.5	27.1	50.7	12.7	36.6	39.2	34.5
ニュージーランド	3.5	22.0	48.6	25.9	25.5	31.3	19.9
イギリス	3.0	17.5	43.6	36.0	20.5	24.9	15.3
アメリカ	2.9	19.1	57.7	20.3	22.0	28.2	15.5
OECD 平均	6.3	19.0	39.0	35.8	25.3	30.1	20.4

注) 正答率は、完全正答および部分正答した生徒を合わせた割合である。